

---

---

# みんなでタイムラインプロジェクト

## 平成29年度常総市小中学校一斉学校防災 訓練におけるマイ・タイムライン作成の記録

---

---



平成30年3月

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫

に関する減災対策協議会

---

---

---

---

## 目次

発刊によせて.....	1
はじめに .....	2
1. 学校関係者との打合せ .....	5
1.1 第1回打合せ（平成29年6月8日） .....	5
1.2 第2回打合せ（平成29年7月12日） .....	11
2. 各学校使用教材の作成及び実施方法の調整.....	18
2.1 各学校使用教材の作成.....	18
2.2 実施方法の調整 .....	19
2.3 基本となる使用教材.....	20
3. 学校教員への研修 .....	34
3.1 大生小学校（平成29年7月31日） .....	34
3.2 水海道小学校（平成29年8月21日） .....	36
3.3 豊田小学校（平成29年8月21日） .....	38
4. 関係者との打合せ .....	40
4.1 筑波大学事前打合せ（平成29年8月28日） .....	40
5. 報道発表資料 .....	42
6. 各学校の実施内容 .....	44
6.1 実施内容一覧（平成29年9月1日） .....	44
6.2 各学校の実施状況.....	45
6.2.1 大生小学校 .....	45
6.2.2 鬼怒中学校.....	48
6.2.3 菅原小学校.....	51
6.2.4 豊田小学校.....	54
6.2.5 水海道小学校.....	57
6.2.6 三妻小学校.....	60
7. 児童が作成したマイ・タイムラインの代表事例.....	71
7.1 大生小学校 .....	71
7.2 菅原小学校 .....	77
7.3 豊田小学校 .....	80
7.4 水海道小学校 .....	83
7.5 三妻小学校 .....	86
8. 防災教育に参加した児童の声 .....	92
8.1 防災教育に参加された児童の皆さんからのアンケート結果.....	92
9. 報道機関により取り上げられた情報等の紹介.....	98
9.1 新聞記事 .....	98
おわりに .....	104

---

---

## 発刊によせて

平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨により常総市は未曾有の水害に襲われました。多くの家屋が水没し、大生小学校、石下中学校、玉小学校も同様の被害にあいました。避難を余儀なくされた児童生徒の数は、390 名にのぼり、そんな中、授業再開に向けて、多くの方々のご支援により、復興を遂げることができました。

常総市の小中学校は、この災害で受けた教訓を風化させないためにも、常総市の防災教育を確かなものにする必要がありました。平成 28 年 9 月 1 日に、常総市校長会が中心となって常総市内一斉防災訓練が実施の運びとなりました。各校が特色を活かしながら、幼保・小中の連携を図ったり、外部講師を有効に活用したり、茨城大学生と連携をしながらワークショップを実施したりと工夫がみられました。

さらに、平成 29 年 9 月 1 日には、国土交通省下館河川事務所、茨城大学及び筑波大学のご支援をいただき 2 回目の市内一斉防災訓練を実施することができました。昨年度に引き続き「クロスロードゲーム」を実施する学校、さらには、「マイ・タイムライン」「スマっぷ」の新たな防災教育の手法を加えて実施する学校と、常総市内の各小中学校の防災教育に対する新たな工夫が見られました。

今回、6 校が実施した「マイ・タイムライン」の活動では、防災に関して家庭で話し合う機会をもてたり、事前の行動や準備物等について共有化を図れたり、防災の意識の高揚につながった、などの成果を得ることができました。これも、国土交通省下館河川事務所をはじめとした鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の皆様による、子ども達が取り組みやすい「マイ・タイムライン」の資料の提供やご支援のお陰と感謝申し上げます。今回の「マイ・タイムライン」の取り組みを資料としてまとめることは、今後の常総市の小中学校の防災教育の貴重な資料となることと思います。多くの学校が「マイ・タイムライン」の活動に取り組み、今後の防災教育の一助になることを期待しております。

常総市内一斉防災教育の実施にご指導いただきました、国土交通省下館河川事務所をはじめとした鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の皆様、茨城大学・筑波大学、常総市の関係団体の皆様に厚く御礼申し上げます。今後も常総市の各小中学校が防災教育の充実に取り組むことをお約束し、発刊に当たっての言葉とさせていただきます。

常総市教育研究会・防災委員会委員長

常総市立岡田小学校長

山口 道夫

---

## はじめに

平成27年9月関東・東北豪雨においては、鬼怒川の決壊等により常総市の面積のおよそ三分の一に相当する約40km<sup>2</sup>が浸水し、避難の遅れや避難者の孤立が発生して、自衛隊、消防、警察、海上保安庁により、合わせて約4,300名の方が救助されました。

これを受け、平成27年12月4日、国土交通省関東地方整備局、茨城県、常総市など鬼怒川沿川の7市町が主体となって進める、ハード対策とソフト対策が一体となった緊急的な治水対策「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を発表しました。また、続く12月10日には、社会資本整備審議会 河川分科会 大規模氾濫に対する減災のための治水対策検討小委員会が「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について ～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～ 答申」をとりまとめ、鬼怒川緊急対策プロジェクトのようなハード・ソフトを一体的に進める取り組みを全国の国管理河川で進めることとなりました。そしてこれらの取り組みは、平成28年8月に北海道・東北地方を襲った一連の台風や、平成29年7月九州北部豪雨による被害を踏まえ、中小河川にも拡大されています。

鬼怒川においては、隣接する小貝川とあわせて、国・県・10市町で構成される「鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設置し、犠牲者ゼロ等の目標に向けて、迅速かつ的確な避難行動のための取り組みを進めるなどとした取り組み方針を平成28年5月11日に決定しました。そして、その一つの具体的施策として、「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めることとしました。

みんなでタイムラインプロジェクトは、円滑な避難のためには住民一人ひとりが自分自身に合った適確な避難行動をとることが重要との認識の下で、住民一人ひとりが自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「自分の逃げ方」を手に入れることを目的として、市役所のサポートの下で住民が自らの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討するプロジェクトです。

平成28年度は、常総市若宮戸地区と根新田地区の2つのモデル地区で検討を行い、平成29年度は、常総市で9月1日の「防災の日」に行われた平成29年度常総市小中学校一斉学校防災訓練の中で、6

校の小中学校と協力し、洪水への備えと自らの逃げ方を考える「マイ・タイムライン」の作成に取り組みました。学校関係者と協力して作り上げた一斉学校防災訓練におけるマイ・タイムライン作成までの過程を図-1に示しています。

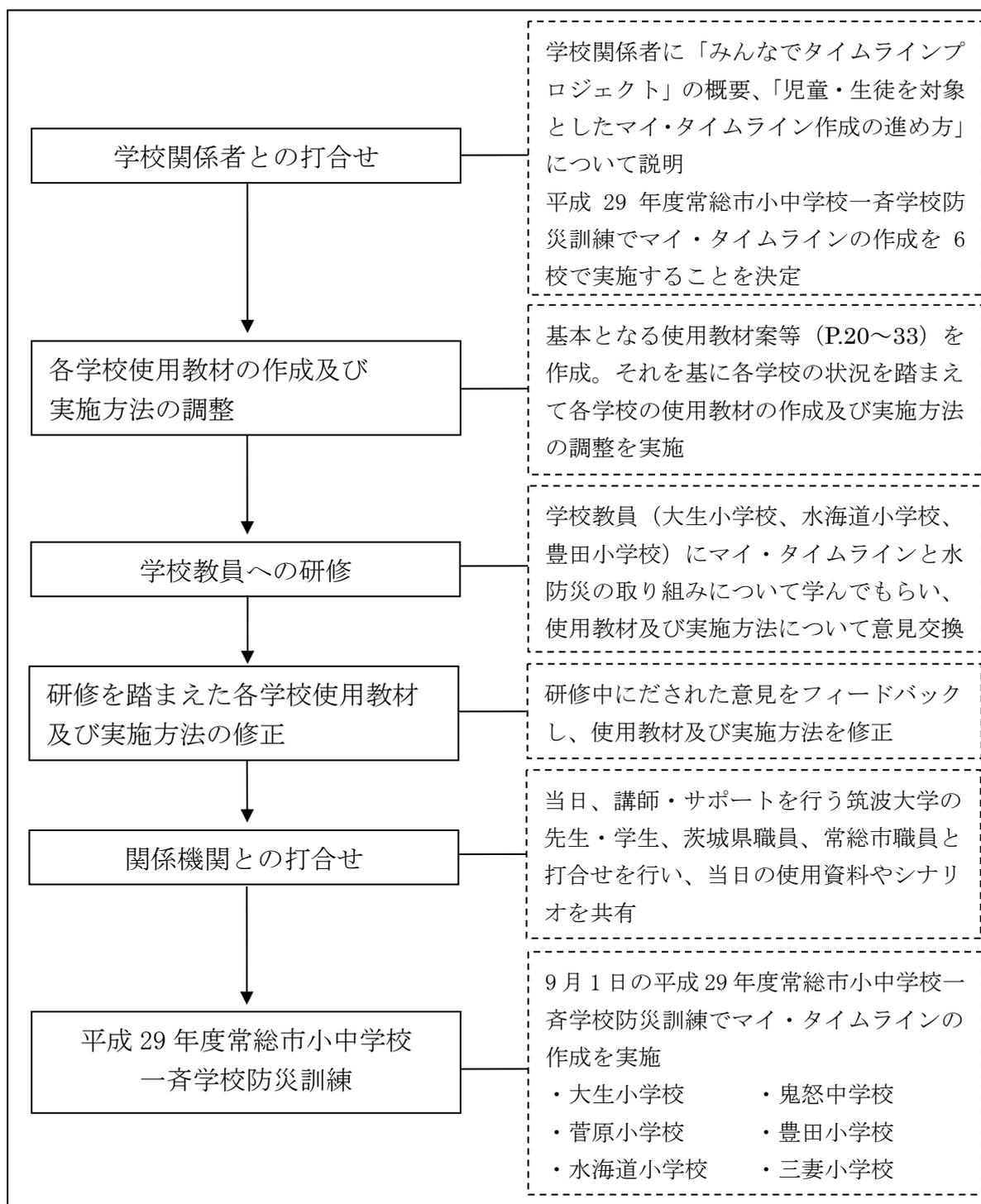


図-1 一斉学校防災訓練におけるマイ・タイムライン作成の流れ

---

これからの時代を担う子供達を対象に、自らマイ・タイムラインを作成してもらう取り組みは、「水防災意識社会の再構築」に向けて意義のあるものであり、全国でも初めての取り組みです。

この記録集は、小中学校でのマイ・タイムラインの作成に至るまでの経緯を取りまとめたものであり、一斉学校防災訓練の流れ、先生や児童・生徒からいただいたご意見、使用した資料等を収録し、事実関係としての記録を重視して取りまとめています。

水害から命を守るためには、一人ひとりが水害時において適切な避難行動をとる能力を養うことが必要です。この記録集が、水防災意識社会の再構築に、また全国の地域防災力向上に役立つとともに、子供から家庭、さらには地域へと水防災意識が浸透していく一助となることを願います。

## 1. 学校関係者との打合せ

### 1.1 第1回打合せ（平成29年6月8日）

■日時：平成29年6月8日（木） 10：00～12：00

■場所：常総市立岡田小学校

■出席者：常総市教育研究会・防災委員会委員長（常総市立岡田小学校山口校長）、  
マイ・タイムライン作成に興味を持たれた各学校の一斉学校防災訓練担当教員  
（石下中学校、大生小学校、鬼怒中学校、菅原小学校、豊田小学校、水海道小学校、  
三妻小学校）、  
茨城大学伊藤教授、  
下館河川事務所（里村事務所長、石田副所長、星尾調査課長）

■概要：「みんなでタイムラインプロジェクト」の概要等について説明。

9月1日の平成29年度常総市小中学校一斉学校防災訓練の中で、マイ・タイムラインの作成も行う方向で今後調整を進めることを確認。

■議事概要：

項目	概要
マイ・タイムラインの概要について	（下館河川事務所） 「みんなでタイムラインプロジェクト」の背景及び現状、低年齢層向けマイ・タイムラインの考え方について説明
9月1日の平成29年度常総市小中学校一斉学校防災訓練について	・一斉学校防災訓練にあわせて小中学校でマイ・タイムライン作成を実施させてもらいたい ・低年齢層向けマイ・タイムラインの考え方、実際のやり方については決まったものではなく、今後先生とも協議して決めていきたい （岡田小学校山口校長） 今年の一斉学校防災訓練については、昨年度行った「クロスロード」に加えて、「マイ・タイムライン」、「地域安全マップ スマっぷ」の3つのどれかを学校の実情にあわせて実施したいことを説明 ・どの学校が何をやりたいかを次回打合せまでに、各学校に聞き取る

■配布資料：

資料NO.	資料名称
資料1	「みんなでタイムラインプロジェクト」の低年齢層へのアプローチについて（P.6～7）
資料2	低年齢層向けマイ・タイムラインの考え方 イメージ（P.8～10）
資料3	みんなでタイムラインプロジェクト常総市モデル地区における検討の記録（ <a href="http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000669989.pdf">http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000669989.pdf</a> ）

平成 29 年 6 月 8 日

「みんなでタイムラインプロジェクト」の低年齢層へのアプローチについて

○背景

平成 27 年 9 月 関東・東北豪雨においては、線状降水帯による記録的豪雨によって鬼怒川が決壊し、常総市の約 1/3 が浸水して約 4,300 名が警察、消防、自衛隊等により救助された。国土交通省、茨城県、常総市などの市町では、ハード対策とソフト対策を一体的に進める「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を進めることとしており、国・県・市町で構成する協議会では、「逃げ遅れゼロ」を目標として迅速かつ的確な避難行動のための取り組みを進めることとしている。

○現状

平成 28 年 11 月から、常総市の 2 地区をモデル地区として、住民一人ひとりが「自分の逃げ方」を手に入れることを目的として、それぞれの住民が自らの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討する「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めてきたところ。計 5 回の検討会を開催し、およそ 100 名の住民にマイ・タイムラインを作成いただくことができた。また、5 月 28 日に実施した洪水時情報伝達演習には、マイ・タイムラインを作成した 14 名の住民にも参加いただくことができた。

下館河川事務所としては、このプロジェクトを進めることで住民の水防災意識の高揚と水防災知識の向上、さらには地域の絆の強化を図ることが可能であることを確認できたと考えており、今後さらにプロジェクトを進めるために、低年齢層を対象としたマイ・タイムラインの検討を開始したいと考えている。

---

## ○低年齢層向けマイ・タイムラインの考え方

これまでのマイ・タイムラインは、作成の過程で STEP 1「自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る」、STEP 2「洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る」STEP 3「マイ・タイムラインの作成」と段階を踏んで検討を進めることとしている。

低年齢層向けでは、まず児童にマイ・タイムラインの骨格を作成してもらい、それを実現するために家庭においてとるべき行動を検討していく流れとする。

具体的には、高学年を対象にクイズ形式でマイ・タイムラインの骨格を作成していく（班での検討が有効か？）。まずは、「並べ替えクイズ」を行ってマイ・タイムラインの骨格（防災行動の時系列）を作成する。その後、「クイズをつくろう」として、家庭に持ち帰る検討事項を整理する。そのうえで、それらを宿題として各家庭に持ち帰って家族と検討し、マイ・タイムラインを充実させる。また、オプションとして、各家庭で検討したマイ・タイムラインを発表し、理解を深める機会を作ることも考えられる。

### ① 児童による骨格作成（マイ・タイムライン クイズ）

#### ・並べ替えクイズ

「安全な場所へ移動を始める」、「安全な場所へたどり着く」、「靴をはく」、「情報をとる」、「天気予報を見る」、「戸締りをする」、「持ち物を準備する」・・・などを並べ替えて骨格を作成する。あわせて、他に必要なものも考える。

#### ・クイズをつくろう

「安全な場所はどこ？」、「移動を始めるのはいつ？」、「情報は何からとる？」、「何を持って逃げる？」・・・など、並べ替えクイズで作成した骨格を具体化する質問（親への質問）を作成する。

### ② 家庭における行動検討

児童が持ち帰ってきた質問の答えを家庭で検討する。参考資料として、浸水想定区域図等の資料を持ち帰ってもらうこととし、それらの資料は下館河川事務所が提供する。

#### （参考）検討イメージ案

- ・9月1日（1時間程度） マイ・タイムライン クイズを実施
- ・その後（1週間程度） 各家庭でマイ・タイムラインを充実
- ・9月10日（1時間程度） マイ・タイムライン発表会（オプション）

以上

## 「みんなでタイムラインプロジェクト」の低年齢層へのアプローチ

### ■ 児童による骨格作成 (1) 並び替えクイズ

安全な場所へ移動を始める

靴を履く

情報入手する

天気予報を見る

戸締まりをする

持ち物を準備する

(フリー)

(フリー)

※骨子に必要なキーワードを用意し、50音順で並べる。

#### ● 並び替えクイズ 台紙のイメージ。

■ 川が溢れそうな大きな台風が近づいて来るとしたら、「安全な場所にたどり着く」ためにはどのような順番で行動をしますか？



安全な場所にたどり着く

#### ● 並び替えた後のイメージ ⇒ 骨子

■ 川が溢れそうな大きな台風が近づいて来るとしたら、「安全な場所にたどり着く」ためにはどのような順番で行動をしますか？

天気予報を見る



情報入手する



持ち物を準備する



戸締まりをする



靴を履く



安全な場所へ移動を始める



安全な場所にたどり着く

## 「みんなでタイムラインプロジェクト」の低年齢層へのアプローチ

### ■ 児童による骨格作成 (2)クイズをつくろう

#### ● クイズを作成する用紙のイメージ。

並び替えクイズを貼り付けよう。

■ 川が溢れそうな大きな台風が近づいて来たとしたら、「安全な場所にたどり着く」ためにはどのような順番で行動をしますか？

天気予報を見る



情報を入手する



持ち物を準備する



戸締まりをする



靴を履く



安全な場所へ移動を始める



安全な場所にたどり着く

クイズをつくろう。

■ 「安全な場所にたどり着く」ための行動をするために、親に聞いたり、確認をしておいた方がよいと思うことをクイズにしてみよう。

Q

-----  
答

どんな情報が必要？  
情報は何かから入手する？

Q

-----  
答

Q 何を持って逃げる？

-----  
答

雨戸は閉めるの？  
電気はどうするの？

Q

-----  
答

雨戸は閉めて、ブレーカーを落とす。

Q どんな靴を履いていく？

-----  
答

長靴よりも、動きやすい運動靴。

移動を始めるのはいつ？

Q

-----  
答

避難場所まで歩いて30分

Q 安全な場所はどこ？

-----  
答

- ・ 家に持ち帰って、家族に相談してみよう。
- ・ 家族と相談した結果を答えの所に記入しよう。
- ・ 確認した内容を参考に『マイ・タイムライン』を作ってみよう。

# 「みんなでタイムラインプロジェクト」の低年齢層へのアプローチ

## ■ 児童による骨格作成 (3)マイ・タイムラインをつくろう。

●●市 ▲▲地区 ■■家 鬼怒川マイ・タイムライン		作成年月日	年	月	日
3日前	<b>行動情報</b> ○防災予報 ○台風に関するテレビ、ラジオ放送情報(気象庁)	<b>家族等(親)</b> ○テレビの天気予報を注意 ○家族全体の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行き ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認	<b>避難のポイント</b> 流出する予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。強雨によって、予定の予定が変更になる可能性があります。	<b>天気予報を見る</b>  <b>雨の情報を入手する</b>  <b>持ち物を確認する</b>  <b>水位の情報を入手する</b> ・川の防災情報から●●●観測所の水位を確認。	
	<b>2日前</b> ○大雨特報・洪水警報 ○台風に関するテレビ、ラジオ放送情報(気象庁)	○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川のの様子に注意 ○家族全体の今後の予定を確認 ○携帯電話の充電	高でとばされそうの物、自転車、洗濯物のつづき、ビニール傘などの物は、手袋で持ち上げよう。		
1日前	<b>1日前</b> ○大雨特報・洪水警報 ○台風に関するテレビ、ラジオ放送情報(気象庁)	○携帯電話の充電 ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○家族の誰か一人に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電	移動中に情報を収集できるように、携帯電卓の充電をしておきましょう。	<b>持ち物を準備する</b> ・川の防災情報から●●●観測所の水位を確認。	
	<b>半日前</b> ○大雨特報・洪水警報 ○台風に関するテレビ、ラジオ放送情報(気象庁)	○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備情報の受信 ○特急にかかるとは、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断	避難所が満杯の場合は、避難所を迂回して避難しましょう。		
-5h	<b>-5h</b> ○大雨特報・洪水警報 ○台風に関するテレビ、ラジオ放送情報(気象庁)	○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難開始、避難指示を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断	避難所が満杯の場合は、避難所を迂回して避難しましょう。	<b>戸締まりをする</b> <b>安全な場所へ移動を始める</b> 安全な場所にたどり着く	
	<b>-3h</b> ○大雨特報・洪水警報 ○台風に関するテレビ、ラジオ放送情報(気象庁)	○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確認	避難所が満杯の場合は、避難所を迂回して避難しましょう。また、避難所について作成したマイ・タイムラインを参照しましょう。		
0h	<b>0h</b> ○大雨特報・洪水警報 ○台風に関するテレビ、ラジオ放送情報(気象庁)	○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急連絡メールを受信			

骨子の情報・相談の内容を踏まえ作成

・ 学校でグループ討議を実施し、発表してみる。

## 1.2 第2回打合せ（平成29年7月12日）

■日時：平成29年7月12日（水） 10：30～12：15

■場所：常総市立岡田小学校

■出席者：常総市教育研究会・防災委員会委員長（常総市立岡田小学校山口校長）、  
マイ・タイムライン作成を実施予定の各学校の一斉学校防災訓練担当教員、  
（石下中学校、大生小学校、鬼怒中学校、菅原小学校、豊田小学校、水海道小学校、  
三妻小学校）、  
茨城大学伊藤教授、茨城大学郡司教授、筑波大学白川准教授、  
NPO法人GIS総合研究所中村氏、  
常総市役所市長公室防災危機管理課（横島課長、小林課長補佐）、  
下館河川事務所（里村事務所長、石田副所長、星尾調査課長）

■概要：マイ・タイムライン作成を実施予定の各学校の一斉学校防災訓練担当教員へ「児童・生徒を対象としたマイ・タイムライン作成の進め方」について説明し、調整を実施。

### ■議事概要：

項目	概要
児童を対象としたマイ・タイムライン作成の進め方	（下館河川事務所） 防災教育当日の資料を提案 ・すでに資料やカリキュラムを作り始めている学校もあるため、資料の大枠を早急に固める必要がある。各学校で河川事務所が提案した資料を使うか、カスタマイズするか検討して欲しい ・各学校へのサポートメンバー（市役所、河川事務所等）の体制を早めに決める必要があるが、河川事務所の職員にも限りがあるため、河川事務所職員ではなく極力先生方にも講師を務めてもらいたい。 必要であれば各学校の教員に研修も実施できる。 当日は、筑波大学の学生にも協力していただくことを確認

### ■配布資料：

資料 NO.	資料名称
資料1	・児童を対象としたマイ・タイムラインの作成について（P.12～13）
資料2	・使用教材（案）（P.14～16）

2017/07/12

## 児童を対象としたマイ・タイムラインの作成について(たたき台)

## 1. 背景

平成27年9月 関東・東北豪雨においては、線状降水帯による記録的豪雨によって鬼怒川が決壊し、常総市の約1/3が浸水して約4,300名が警察、消防、自衛隊等により救助された。国土交通省、茨城県、常総市などの市町では、ハード対策とソフト対策を一体的に進める「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を進めることとしており、国・県・市町で構成する協議会では、「逃げ遅れゼロ」を目標として迅速かつ的確な避難行動のための取り組みを進めることとしている。

## 2. 現状

平成28年11月から、常総市の2地区をモデル地区として、住民一人ひとりが「自分の逃げ方」を手に入れることを目的として、それぞれの住民が自らの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討する「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めてきたところ。計5回の検討会を開催し、およそ100名の住民にマイ・タイムラインを作成いただくことができた。また、5月28日に実施した洪水時情報伝達演習には、マイ・タイムラインを作成した14名の住民にも参加いただくことができた。

下館河川事務所としては、このプロジェクトを進めることで住民の水防災意識の高揚と水防災知識の向上、さらには地域の絆の強化を図ることが可能であることを確認できたと考えており、今後さらにプロジェクトを進めるために、低年齢層を対象としたマイ・タイムラインの検討を開始したいと考えている。

## 3. 授業計画(案)

NO	区分	国土交通省からの提案内容	メモ欄
1	学習の概要	川が氾濫する簡易なメカニズムと洪水時の主な防災行動について学習します。	
2	学習の目標	児童一人ひとりにマイ・タイムラインを作成してもらい、洪水時の自分の逃げ方を身につけていただく。また、作成したマイ・タイムラインをご家族で共有していただく。	
3	対象学年	小学校高学年（5～6年生）	
4	使用教材	別紙：資料1～4、 「マイ・タイムラインをつくるためのヒント集」	

NO	区分	国土交通省からの提案内容	メモ欄																																							
5	学習方法	<p>資料1～4を中心に学習します。 1班（6名～8名程度）でグループになり、先生の指導のもと学習をしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1では、川が氾濫するメカニズムを時系列で理解していただくために、パズル方式で回答していただきます。資料1は、正解があるので、正解を板書し、解説します。</li> <li>資料2では、主な防災行動を時系列で選択していただきます。選択する際には、班ごとに相談しながら行っていただきます。数名に指示して回答を公表していただきます。なお、資料2は、正解や不正解があるものではないので、児童の意見を尊重してあげてください。</li> <li>資料3では、資料2の主な防災行動についてクイズを作ってください。クイズの作成についても班ごとに相談しながら行っていただきます。クイズのQ（質問）だけ作成してみましょう。</li> <li>資料4では、資料1～3で回答したものを複写して、マイ・タイムラインの完成です。</li> <li>【宿題】：クイズのA（解答）とQ2の防災行動の他に必要な行動がないかを、家族で相談しながら考えてマイ・タイムラインに追記してみましょう。</li> </ul>																																								
6	時間配分	<p>45分 ※時間について、要相談</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>概要</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>マイ・タイムラインについて</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>資料1(Q1)の説明</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>資料1(Q1)を児童が学習</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>回答発表</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>資料2(Q2)の説明</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>資料2(Q2)を児童が学習</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児童が発表</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>資料3(Q3)の説明</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>資料3(Q3)のクイズのみ児童が作成</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>マイ・タイムラインの作成</td> <td>8分</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>宿題の説明</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>時間</td> <td>45分</td> </tr> </tbody> </table>		概要	時間	A	マイ・タイムラインについて	3分	B	資料1(Q1)の説明	3分		資料1(Q1)を児童が学習	5分		回答発表	3分	C	資料2(Q2)の説明	3分		資料2(Q2)を児童が学習	5分		児童が発表	5分	D	資料3(Q3)の説明	3分		資料3(Q3)のクイズのみ児童が作成	5分	E	マイ・タイムラインの作成	8分	F	宿題の説明	2分		時間	45分	
	概要	時間																																								
A	マイ・タイムラインについて	3分																																								
B	資料1(Q1)の説明	3分																																								
	資料1(Q1)を児童が学習	5分																																								
	回答発表	3分																																								
C	資料2(Q2)の説明	3分																																								
	資料2(Q2)を児童が学習	5分																																								
	児童が発表	5分																																								
D	資料3(Q3)の説明	3分																																								
	資料3(Q3)のクイズのみ児童が作成	5分																																								
E	マイ・タイムラインの作成	8分																																								
F	宿題の説明	2分																																								
	時間	45分																																								
7	講師	クラスの担任の先生																																								

#### 4. 確認事項

- ・各学校で何クラスがマイ・タイムラインの実施にご協力いただけますか。また、協力していただけるクラスの学年を教えてください。
- ・今後他の地域への拡大と教材の充実を図るために、作成したマイ・タイムラインの複写をしていただき、国土交通省にご提供をお願いしたい。

配布資料

資料 2 使用教材 (案)

資料 1

Q 1. 黄色のカードを「台風が発生」してから「川から水があふれる」までを順番に並べかえてみましょう

「台風が発生」してから「川から水があふれる」までの動き

ア. 台風が発生

イ. 川から水があふれはじめる

ウ. 川の水がいっぱい

エ. 激しい雨や風が発生

オ. 川の水が段々高くなる

ア～オをならびかえてみよう！！

①

天気予報を確認しよう！

台風情報です

②

雨が強いね。川はどんな感じかな？

③

普段より川の水が多いよ！あふれたらおうち大丈夫かな？

④

川から水があふれる前に逃げろ～！

⑤

川から一気に水が…

Q 2. 「台風が発生」してから「川から水があふれる」までの間に、みなさんがどのような行動をとるのか考えてみましょう。一番下にある主な防災行動カ～スを選んで、当てはめて下さい。一つの防災行動を何度使ってもよいです。

主な防災行動			
カ.今後の天気を確認	キ.川の水位を確認	ク.防災グッズ等を準備	ケ.安全な場所へ移動を開始
コ.家族に連絡	サ.安全な場所がどこか確認	シ.避難できる服に着がえる	ス.戸締まり

カ～スを当てはめよう！！

①から②の間での防災行動	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
↓			
②から③の間での防災行動	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
↓			
③から④の間での防災行動	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
↓			
④から⑤の間での防災行動	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Q3. Q2でみなさんが当てはめた主な防災行動（カ〜ス）を行うために、あらかじめ家族に聞いたり確認をしておいてほうが良いことや思うことをクイズにしてみましょう

クイズをつくろう！！

①から②までの防災行動クイズ

Q：今後の天気は何から確認する？

A：ニュース、天気予報

Q：

A：

②から③までの防災行動クイズ

Q：

A：

Q：

A：

③から④までの防災行動クイズ

A：

Q：

A：

④から⑤までの防災行動クイズ

Q：

A：

Q：

A：

先生から配られた「マイ・タイムラインノート」を見ながらクイズを考えるといいかもよ！



■実施状況記録：



里村事務所長挨拶



先生方との打合せの様子

---

## 2. 各学校使用教材の作成及び実施方法の調整

平成 29 年度常総市小中学校一斉学校防災訓練では、マイ・タイムライン作成のほかにも各学校の実情に応じて、防災に関する講話や避難訓練などの実施が予定されており、学校ごとにマイ・タイムライン作成に取り組むことができる時間や実施学年等が異なっていた。

そのため、統一的な教材や実施方法にこだわるのではなく、学校関係者との打ち合わせで、使用教材や実施方法の方向性をある程度決めた後は、各学校の一斉学校防災訓練担当教員と協力し、各学校の状況に応じた使用教材の作成や実施方法の調整を行った。

### 2.1 各学校使用教材の作成

これまで、マイ・タイムライン作成にあたっては、作成の過程で STEP1「自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る」、STEP2「洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る」、STEP3「マイ・タイムラインの作成」と段階を踏んで検討を進めることとしていた。

(詳細は、「みんなでタイムラインプロジェクト 常総市モデル地区における検討の記録（平成 29 年 3 月）」及び「マイ・タイムライン検討の手引き（平成 29 年 5 月）」を参照)

そのため、小中学校でのマイ・タイムライン作成においても、上記の STEP1～STEP3 の考え方を基本とし、その上で、児童・生徒にマイ・タイムラインの骨格を作成してもらい、それを実現するために家庭においてとるべき詳細な行動を検討していく流れとした。(図-2)

また、児童・生徒に関心を持ってもらえるよう、並び替えやクイズを盛り込むとともに、行動のきっかけとなる洪水時に得られる情報については、難解にならないよう、「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知るといった形を採用した。

上記の考えに基づき、基本となる使用教材案 (P.20～28) を作成し、各学校の一斉学校防災訓練担当教員との調整の中で、各学校の実情に応じて修正を行うとともに、授業時間及び対象児童が理解できるかどうかの主眼をおき、内容の精査を繰り返し各学校の使用教材を作成した。

- ・みんなでタイムラインプロジェクト 常総市モデル地区における検討の記録（平成 29 年 3 月）  
[http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000669989.pdf](http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000669989.pdf)
- ・マイ・タイムライン検討の手引き（平成 29 年 5 月）  
[http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000672862.pdf](http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000672862.pdf)

## 2.2 実施方法の調整

児童・生徒により理解を深めてもらうため、各学校の一斉学校防災訓練担当教員と調整を行い、マイ・タイムライン作成の過程でグループでの話合いの時間や発表の時間を適時確保した。

また、授業時間が限られる中で理解を深めてもらうことと、家庭での話合いにより理解を深めてもらうため、いくつかの学校においてはマイ・タイムラインの作成部分については宿題とした。  
(基本となる進行シナリオはP. 29～33)

さらに、全校児童でマイ・タイムラインの作成を実施するなど、低学年も対象としている学校については、登下校班で実施するなど、わからない児童をサポートできるような体制を構築した。

その上で、常総市、茨城県、下館河川事務所から職員を各学校に派遣するとともに、筑波大学の学生にも参加してもらい、児童・生徒のサポート体制を構築した。

その他、学校からの依頼により地元ボランティアや消防団の方々等にも来ていただいた。

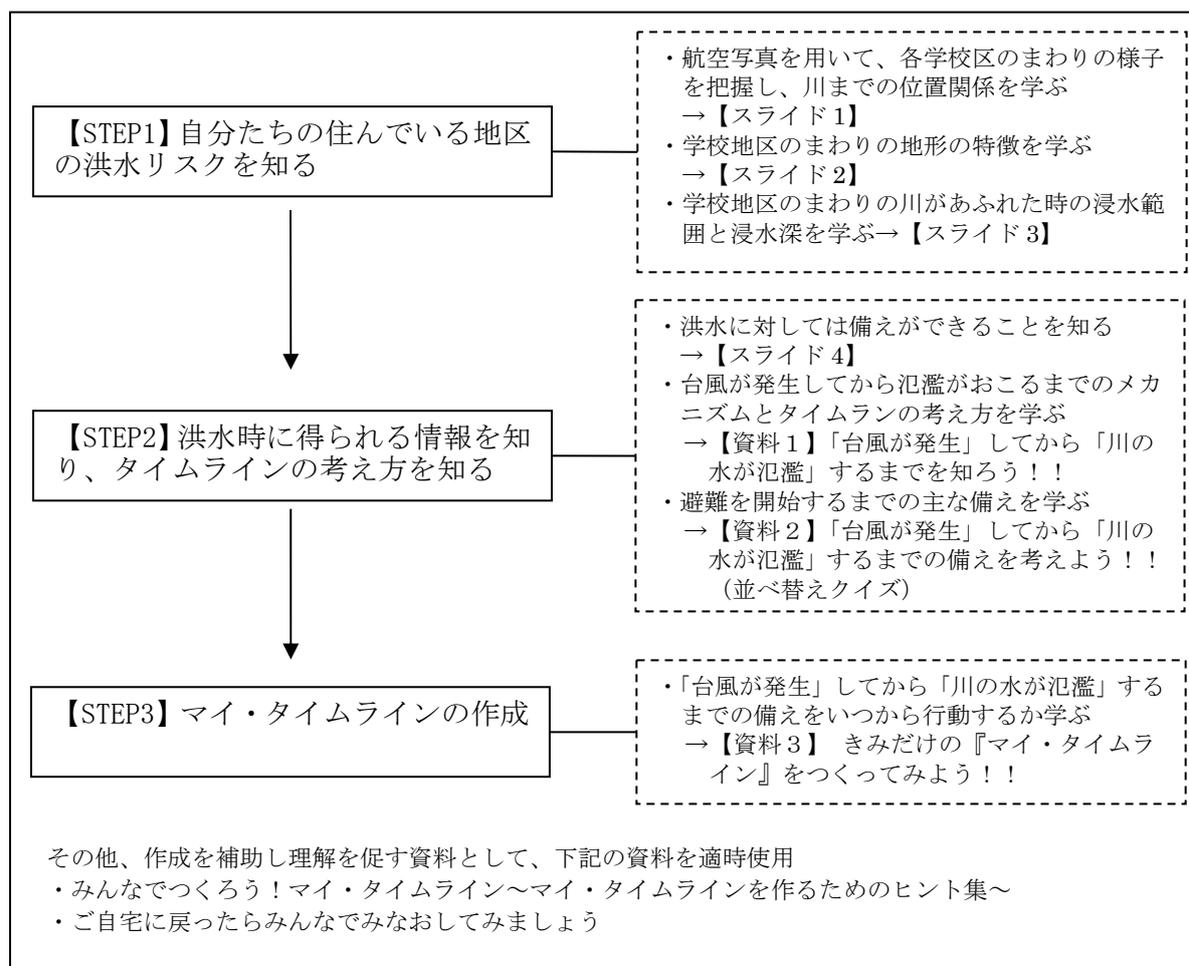


図-2 マイ・タイムラインを作成するための使用教材の流れ

## 2.3 基本となる使用教材

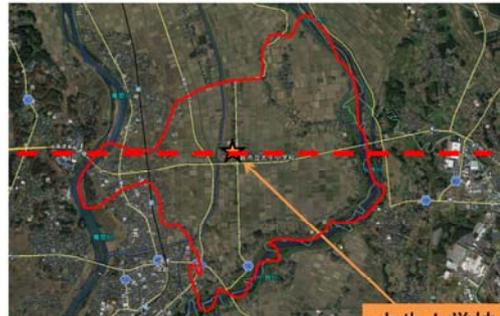
※スライド1～3については大生小学校の例。同様の資料を各学校について作成。

自分の逃げ方「マイ・タイムライン」をつくろう！！  
～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～

平成29年9月1日  
常総市立大生小学校

大生小学校のまわり

【スライド1】



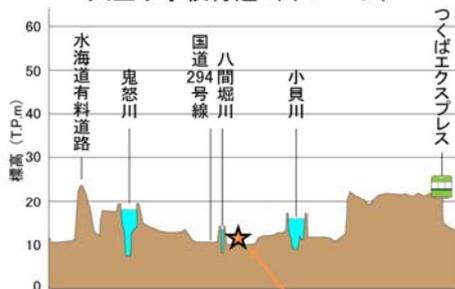
大生小学校

空からみた、大生小学校のまわりの様子です  
大生小学校は鬼怒川、小貝川のちょうど真ん中にあります

大生小学校のまわり

【スライド2】

大生小学校付近（イメージ）



大生小学校

川が氾濫したら

【スライド3】

鬼怒川が氾濫したら...



大生小学校



自分の命を守るためにどうすればいい？ 【スライド4】

じしん  
地震はいきなりやってくるけど

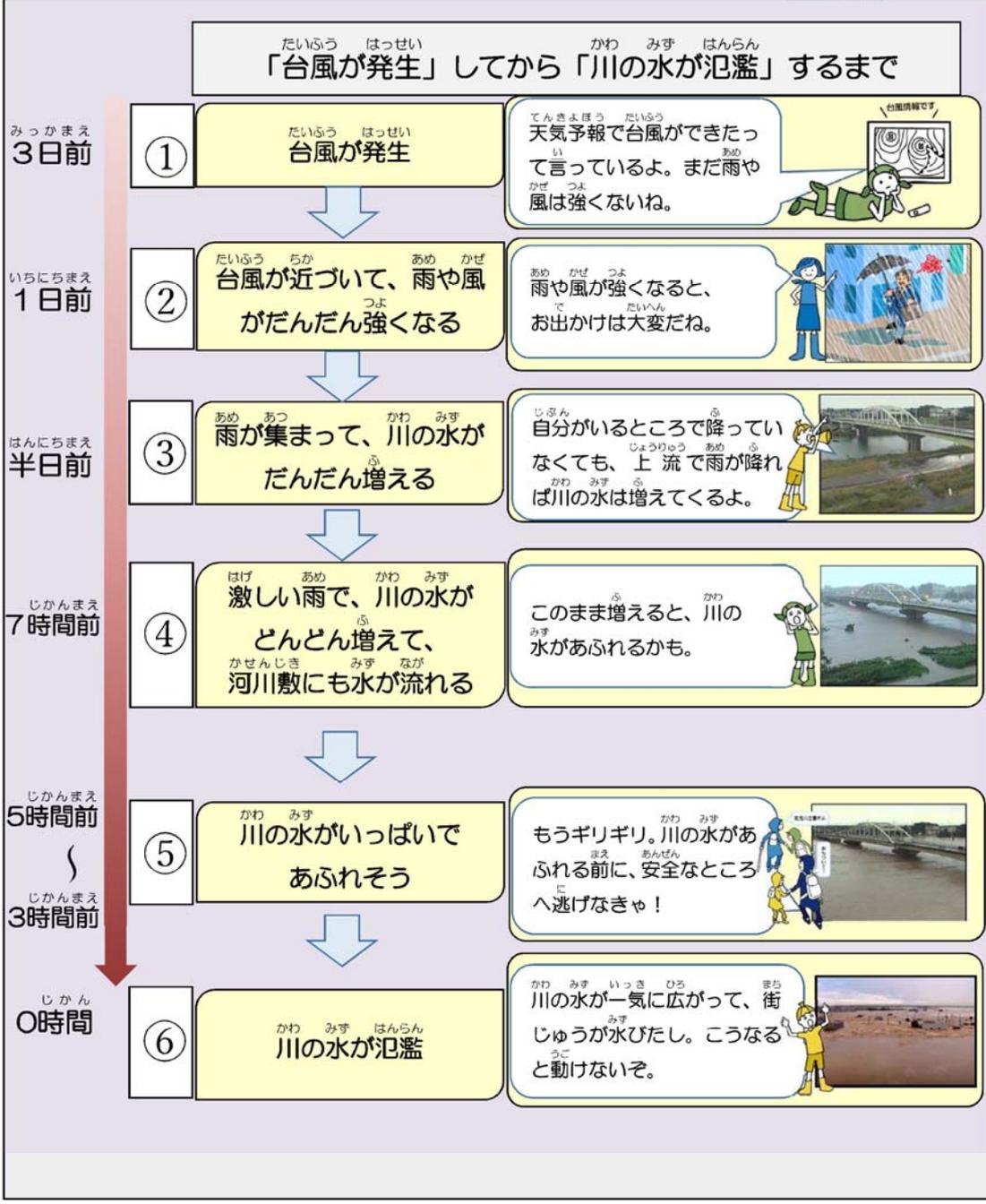
こうずい  
洪水はだんだんやってくるよ！



「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！

ご確認ください！

地震はいきなりやってくるけど、洪水はだんだんやってくるよ！



「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！

はんらん ほっせい ひと そな いのち  
氾濫が発生するまでに、一つずつ備えて、命をまもろう！



しりょう 資料2

「川の水が氾濫」するまでの主な備え

ア～カを空欄と線で結んでみよう！

みっかまえ 3日前

あんぜん ところ  
ア.安全な所へ  
移動を始める

あんぜん ところ  
安全な所ってどこかな？

ひなん  
イ.避難しやすい  
服装に着替える

ながづつ みず はい おも  
長靴に水が入ると重たく  
て動きにくいよ。

ひなん とき ち  
ウ.避難する時に持って  
いく物を準備する

も もの  
持ち物をリュックに入れる  
と両手が使えるよ。

こんご たいふう  
エ.今後の台風を  
調べ始める

なに かくにん  
何を確認する？

かわ すいい  
オ.川の水位を  
調べ始める

ちやくせつみ い あら  
直接見に行くと危ないよ。

す ところ じょうりゆう  
カ.住んでいる所と上流  
の雨量を調べ始める

みず たか ところ ひく ところ  
水は高い所から低い所へ  
ながり流れてくるから、上流の  
あめ かくにん  
雨も確認しよう。

じかん 0時間

たいふう ほっせい  
台風が発生

\_\_\_\_\_

↓

\_\_\_\_\_

↓

\_\_\_\_\_

↓

\_\_\_\_\_

↓

\_\_\_\_\_

↓

\_\_\_\_\_

↓

ひなんかんりよう  
避難完了

かわ みず はんらん  
川の水が氾濫

AかBのどちらかにまるをつけてね。  
他にも答えがみつかったら記入欄に書いてみよう！

Q1 台風の何を調べる？  
たいふう すす かた たいふう なまえ  
A台風の進み方 B台風の名前  
きこゆうらん  
記入欄

Q2 避難するときに使うカバンは？  
りゅくさく つか かばん  
Aリュックサック B手提げ袋  
きこゆうらん  
記入欄

Q3 どの雨を確認する？  
あめ かくにん  
A住んでいる所だけ  
B住んでいる所と川の上流  
きこゆうらん  
記入欄

Q4 川の水位をどうやって調べる？  
かわ すいい  
A川へ見に行く Bパソコンで見る  
きこゆうらん  
記入欄

Q5 どんな靴をはいて避難する？  
くつ ひなん  
うご すぐ ながづつ  
A動きやすい靴 B長靴  
きこゆうらん  
記入欄

Q6 安全な所はどこ？  
あんぜん ところ  
かぞく いっしょ かんが  
家族と一緒に考えてみよう！  
きこゆうらん  
記入欄

# きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するか書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えが『マイ・タイムライン』だよ！

資料3

常総市		地区	家	マイ・タイムライン	作成年月日	年	月	日
<p>3日前</p> <p>行政から発信される情報  <small>行政からの情報</small>                      台風発生情報                      気象庁・気象庁                      気象庁気象情報(気象庁)</p> <p>2日前</p> <p>大雨注意報・洪水注意報  <small>気象庁からの情報</small>                      大雨注意報・洪水注意報</p> <p>1日前</p> <p>大雨警報・洪水警報  <small>気象庁からの情報</small>                      大雨警報・洪水警報</p> <p>半日前</p> <p>大雨特別警報  <small>気象庁からの情報</small>                      大雨特別警報</p>	<p>台風が発生</p> <p>台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる</p> <p>雨が集まって、川の水がだんだん増える</p> <p>激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が溢れる</p> <p>川の水位がぐぐぐとあふれそう</p> <p>川の水が氾濫</p>	<p>いつ、どんな備えをしたら良いか考えてみよう！</p> <p>工、今後の台風を調べ始める</p>	<p>備えの例</p> <p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○1週間分の薬を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯電話等で雨や川の様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を準備する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通行止め情報がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯電話等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>○携帯電話で避難勧告、避難指示を受信</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどこ？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の避難所？</li> <li>ビジネスホテル？</li> <li>とまり町の避難所？</li> <li>親戚の家？</li> </ul> <p>考えてみよう！</p>	<p>雨風が強くなる前に1つべき準備をすませておく時期</p> <p>水位等の状況を把握し、避難場所を確認し始める時期</p> <p>身の安全を確保すべき時期</p>	<p>国や市からの情報だよ。家族と一緒に確認しよう。</p> <p>この授業を受けた感想を教えてください。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	<p>2年前にマイ・タイムラインがあったら役に立ったとおもいますか？</p> <p>「はい」か「いいえ」にまるをつけてね！</p> <p>はい    いいえ</p>		

# みんなで作ろう！ マイ・タイムライン

～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～



みんなで作ろう！  
マイ・タイムラインプロジェクト

## 目次

項目	ページ
洪水と自分自身とをよく知れば、安全に逃げられる！	1
今後の天気を自分で確認してみよう！	2～3
避難を開始するまでに準備しておこう！	4～5
川の水位を自分で調べてみよう！	6～7
避難に役立つ情報を確認してみよう！	8～9

## 洪水と自分自身とをよく知れば、安全に逃げられる！

### ■川から水があふれる前に逃げる！！



大雨が降ると、川にたくさんの水が流れこみ、この水がさらに増えたと川の水があふれ（氾濫）、街に流れ込んできます。  
街に流れ込んできた水は、いきおいが強く、家が流されたりしますので、**川から水があふれる前に安全な高い場所へ移動しておくことが大事です。**

### ■マイ・タイムラインを作ろう！！

川から水があふれる前に安全な場所へ移動しておくためには、どのように川があふれるかを知り、それに備えた準備をしておく必要があります。安全な場所への距離、移動するスピードは人それぞれです。自分自身の家族構成や生活環境を踏まえて、自分自身の洪水リスクを把握し、あわてずに逃げる準備を整えて、逃げ切れるタイミングで逃げ始めることが重要です。いざというときにあわてずに行動するために、いつ何をやるのかを整理しておきましょう。



-1-

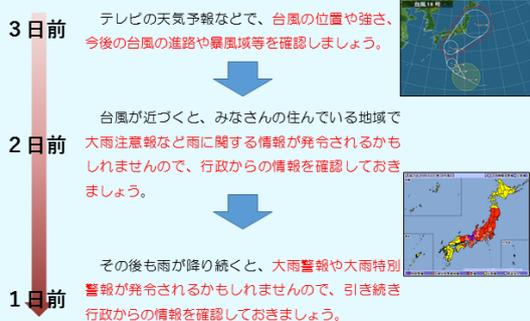
## 今後の天気を自分で確認してみよう！

### ■避難行動を判断する時の有効な情報

洪水時に得られる情報は、天気（台風、雨）、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

情報	気をつけるポイント
台風発生 川の水位上昇	①天気に関する情報 ・ 台風の大きさ ・ 台風の強さ ・ 台風の進路 ・ 雨量 ・ 雨の降っている地域（川の上流） ・ 今後の見通し
	②川に関する情報 ・ 近くの川の水位 ・ 上流の川の水位（今後の見通し） ・ 氾濫の発生
緊急時	③避難に関する情報 ・ 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急） ・ 避難所の開設情報 ・ 交通の状況

### ■①天気に関する情報



-2-

**今後の天気を自分で確認してみよう！**

**■台風に関する情報**



テレビの天気予報や、パソコン、スマートフォン・携帯電話で、気象庁のホームページにアクセスすれば、**台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域等**を確認できます。

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

**■雨に関する情報**



パソコン、スマートフォン・携帯電話で、**川の防災情報ホームページ、気象庁ホームページ**にアクセスするか、**NHK総合テレビのデータ放送**を見ると、雨に関する警報等や雨量観測所のリアルタイム情報、レーダ雨量(XRAIN)情報を見ることができます。雨量観測所のリアルタイム情報は、**下館河川事務所ホームページ**でも確認できます。

川の防災情報ホームページ	<a href="http://www.river.go.jp/">http://www.river.go.jp/</a>
気象庁ホームページ	<a href="http://www.jma.go.jp/">http://www.jma.go.jp/</a>
下館河川事務所ホームページ	<a href="http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html">http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html</a>



川の防災情報ホームページ



気象庁ホームページ

上流部に降った雨は、やがて下流に流れますので、あなたの家の近くの川の水位も上昇する可能性があります。**上流部の雨の様子も確認しましょう。**

**避難を開始するまでに準備しておこう！**

**■避難を開始するまでに準備・考えておくべきこと**

避難を開始するまでに準備できることの一列です。これらは、**普段から準備したり、考えておくことができることもあるので、家族で話しあっておきましょう。**

**3日前** 防災グッズの確認をしておきましょう。不足があれば買い出しへいきましょう。

避難所に置いていない、おじいちゃんやおばあちゃんが普段から飲んでいる薬を病院に受け取りにいきましょう。

携帯電話やスマートフォンを充電しておきましょう。

**半日前** ハザードマップで避難場所や避難手段を確認しておきましょう。



いつでも避難できるように、避難できる服装に着替えましょう。



**5時間前**

**避難を開始するまでに準備しておこう！**

**■いざという時のための防災グッズをそろえておこう！！**

家族と相談しながら、必要なものをリュック等にまとめておきましょう。

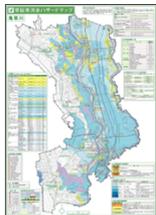
- ・食料 (お菓子やレトルト食なども)
- ・飲料
- ・薬 (普段から薬を飲んでいる人は持っていきましょう)
- ・お薬手帳
- ・保険証
- ・タオル
- ・ビニール袋
- ・大きめのゴミ袋 (即席ポンチョで急な天候不良にも対応可能)
- ・着替え (3日分はあるとよい)
- ・汗拭きシート (お風呂に入れない場合に備えて)
- ・懐中電灯
- ・携帯電話+充電器
- ・貴重品

**■ハザードマップを確認しよう！！**

**ハザードマップ**は、川から水があふれたときにどの地域が危険なのかを色で示したもので、色が濃いほど危険性が高いことをあらわします。

自分の家や学校はどちらでしょうか。  
**避難所やそこまで行く安全なルートなど、前もって確認しておきましょう！**

ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>



**■避難するときには長靴はダメ！！**

長靴に水が入ると、重たくなります。水に強いと思われがちな長靴ですが、逆に避難するときに足まといになってしまう場合がありますので、**避難するときに長靴をはくのはやめましょう！**



**■氾濫水は濁っている！！**

氾濫水は茶色く濁っていて、水路と道路の境や、ふたが開いているマンホールの穴は見えません。やむを得ず水の中を移動するときには、**棒で足下を確認しながら移動しましょう。**



**川の水位を自分で調べてみよう！**

**■避難行動を判断する時の有効な情報**

洪水時に得られる情報は、天気(台風、雨)、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

情報	気をつけるポイント
台風発生	・台風の大きさ ・台風の強さ ・台風の進路
川の水位上昇	②川に関する情報 ・雨量 ・雨の降っている地域(川の上流) ・今後の見通し ・近くの川の水位 ・上流の川の水位(今後の見通し) ・氾濫の発生
緊急時	③避難に関する情報 ・避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急) ・避難所の開設情報 ・交通の状況

**■②川に関する情報**

上流域で大雨特別警報が発令されるなど、川の上流で降った雨が下流まで流れてきて、川の水位が段々高くなると、**氾濫注意水位**に到達します。氾濫注意水位に到達すると、河川事務所から洪水予報(氾濫注意情報)が発表されますので、確認しておきましょう。

**5時間前** 氾濫注意水位を超えても、川の水位が上がり続けると、**避難判断水位**に到達します。避難判断水位に到達すると、河川事務所から、洪水予報(氾濫警戒情報)が発表されますので、確認しておきましょう。

**3時間前** その後も川の水位が高くなり続けると、**氾濫危険水位**に到達します。氾濫危険水位に到達すると、河川事務所から、洪水予報(氾濫危険情報)が発表されますので、いつ氾濫してもおかしくない状態を示しています。

川の水位を自分で調べてみよう！

■川に関する情報

雨が強くなってきたけれど、川の水位も上がっているかしら？



パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページ、下館河川事務所ホームページにアクセスすると、水位観測所のリアルタイム情報、河川の洪水予報を確認できます。NHK総合テレビのデータ放送でも、水位観測所のリアルタイム情報を確認できます。パソコン、スマートフォン・携帯電話で、下館河川事務所ホームページにアクセスすると、鬼怒川、小貝川のライブ映像を見ることができます。

川の防災情報ホームページ	<a href="http://www.river.go.jp/">http://www.river.go.jp/</a>
下館河川事務所ホームページ	<a href="http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html">http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html</a>

川の防災情報ホームページ (水位観測所付近の川の断面図)

下館河川事務所ホームページ (ライブカメラ)

避難に役立つ情報を確認してみよう！

■避難行動を判断する時の有効な情報

洪水時に得られる情報は、天気(台風、雨)、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

情報	気をつけるポイント
①天気に関する情報	・台風のおおきさ ・台風の強さ ・台風の進路
②川に関する情報	・雨量 ・雨の降っている地域(川の上流) ・今後の見通し
③避難に関する情報	・近くの川の水位 ・上流の川の水位(今後の見通し) ・氾濫の発生
	・避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急) ・避難所の開設情報 ・交通の状況

■③避難に関する情報

半日前

天気に関する情報や川に関する情報などを総合的に判断して、避難をするときに時間がかかる人や支援が必要な人など、早めに避難行動を開始していただきたい人に対して、自治体は**避難準備・高齢者等避難開始**の情報を発令しますので、確認しておきましょう。



さらに、天気に関する情報や川に関する情報などから非常に危険な状態が今後予想されると判断した場合は、自治体は**避難勧告**や**避難指示(緊急)**を発令しますので、確認しておきましょう。

5時間前

避難に役立つ情報を確認してみよう！

■避難に役立つ情報を確認しよう！

災害が発生し、危険なときは自治体から**避難勧告・避難指示(緊急)**等がでます。テレビやラジオ、携帯メールやインターネット、防災行政無線などで正しい情報を確認し、避難してください。



↑ 強い 危険度

- 避難指示(緊急)**
  - ・災害によって被害が出る危険性が非常に高い。
  - ・周囲の状況を十分に確認した上で安全な場所に避難するよう努める。
- 避難勧告**
  - ・災害が発生する危険があるため、必要に応じて安全な場所に避難する。
- 避難準備・高齢者等避難開始**
  - ・非常持ち出し品の準備をする。
  - ・高齢者や幼児、外国人、体の不自由な人など避難に時間を要する人は避難を始める。

また、大規模な災害が発生した際、**渋滞の発生や通行止め、そのための迂回路の設置**など、**普段とは違う交通状況になる**ことがありますので、自治体や都道府県、日本道路交通情報センターホームページにアクセスして、**現在の交通状況を確認**してください。

〇〇市ホームページ	<a href="http://www.city.0000.jp/">http://www.city.0000.jp/</a>
茨城県ホームページ	<a href="http://www.prefibaraki.jp/">http://www.prefibaraki.jp/</a>
日本道路交通情報センターホームページ	<a href="http://www.jartc.or.jp/">http://www.jartc.or.jp/</a>

出典：日本道路交通情報センター

みんなでつろう！マイ・タイムライン

～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～

企画・編集 鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会  
鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

問い合わせ先 国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所  
茨城県茨西市二本成1753番地 0296-25-2161

みんなでタイムラインプロジェクト

# ご自宅に戻ったら みなおしてみましよう



▲ヒントはこちら  
マイ・タイムライン検討の手引き  
みんなでタイムライン

<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00285.html>

## ご自宅や周辺のリスクを 確認する



## 避難先を具体的に考える



## ご家族の構成をふまえて、 行動のタイミングを調整する



## 今日作成した マイ・タイムラインをもとに、 ご家族や地域の方と話し合ってみる



作成したマイ・タイムラインを活用し、  
「自分の逃げ方」を手に入れましよう!

鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会  
鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

【問い合わせ先】  
国土交通省 関東地方整備局下館河川事務所  
茨城県筑西市二木成1753 電話：0296-25-2161



### マイ・タイムラインとは？

「マイ・タイムライン」は、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動計画表です。

急な判断が迫られる洪水発生時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立ちます。

自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を手に入れましょう。

### マイ・タイムラインを作成したあとは…

今回検討したマイ・タイムラインは基礎的なもので、例えば、洪水が発生する時間帯によってはさらに早めの避難が必要になるなど、実際の洪水時を想定した応用動作が想定されます。今後、家族や地域で話し合うなどし、防災行動を追加していくとよいでしょう。またマイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではありません。家族が増えたとき、職場や学校が変わったときなど、自分自身の環境の変化に応じて、あらためて見直し、必要な防災行動を整理していきましょう。

## マイ・タイムライン使用時の心得

洪水は自然現象であり、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません。マイ・タイムラインを作成すると、自分と家族がとるべき防災行動の「何時」が明確になりますが、注意点もあります。

マイ・タイムライン上の時間は、時計のように進むわけではありません。例えば、タイムライン上で氾濫発生3時間前となっても、水防団（消防団）の水防活動等によって進行を遅らせることができ、結果として3時間経っても氾濫に至らない場合も想定されます。そのため、実際の洪水においてマイ・タイムラインを使用する際には、次の心得をふまえて行動してください。



- 心得 1 あくまで行動の目安として認識する。
- 心得 2 気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- 心得 3 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

## 洪水はマイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません！

### 洪水によって異なります

台風の進み方  
雨の降り方  
川の水位の上がり方  
氾濫した際の浸水深  
氾濫した際の浸水継続時間

### 洪水に応じて臨機応変に 発表・発令されます

気象警報の発表  
洪水予報の発表  
避難情報の発令



### 洪水に応じて臨機応変に 対応しましょう

みなさんの  
備え



鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会  
鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

【問い合わせ先】  
国土交通省 関東地方整備局下館河川事務所  
茨城県筑西市二本成1753 電話：0296-25-2161



下館河川事務所のFacebook



---

## みんなで作ろう、マイ・タイムライン！（小・中学校）進行シナリオ案

### ○導入

みんな鬼怒川、小貝川のことをしていますか？普段は穏やかな川ですがたくさんの雨が降ると二年前のように水があふれてしまってたくさんの被害が出てしまいます。そこで今日は、「川から水があふれてしまった」時に「どうやって自分の命を守るか」をみんなと一緒に考えていきたいと思います。

### ○スライド1～4

#### 【スライド1】

まずは前の画面を見て下さい。

空から見た〇〇小学校のまわりの様子です（皆さんのおうちも写っていますか）。

〇〇小学校は、鬼怒川と小貝川のちょうど真ん中にあります。

この線に沿って、ズバツと切ってみましょう。

#### 【スライド2】

鬼怒川の堤防はここです。小貝川の堤防はここです。

で、〇〇小学校はここです。

このように、〇〇小学校は、鬼怒川よりも小貝川よりも、そして八間堀川よりも低いところにあります。

なので、川から水があふれてしまうと・・・、このように水につかってしまいます。

#### 【スライド3】

これは、鬼怒川があふれた場合に、どれくらいの範囲が水に浸かるかを示した図です。この図の中で赤くなっている範囲が水に浸かる可能性があります。

〇〇小学校の周りは赤色が濃いですね。5m以上浸水する可能性があることを表しています。ここで一つ覚えておいてください。川から水があふれることを「氾濫」と言います。川が危なくなってくるとニュースでも「氾濫危険情報」とか「氾濫発生情報」とか言うようになります。「氾濫」という言葉が出てくると洪水が近づいてきたということだと覚えておいてください。

では、〇〇小学校のすぐ近くで「氾濫」するとどれくらいで水が来ると思われますか？

鬼怒川からだとすぐに、小貝川が氾濫した場合でも2時間くらいでやってきます。

こんな洪水から命を守るためにどうすればいいのでしょうか？

「氾濫」が始まる前に逃げるのが大事ですね。

今日は、洪水から、皆さん自身や、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんやきょうだいの命を守るための「マイ・タイムライン」を考えていきたいと思います。

---

#### 【スライド4】

お姉さんが言っていることを見てみましょう。「地震はいきなりやってくるけど、洪水はだんだんやってくるよ！」と言っています。皆さんどうですか？地震はいきなり、ガガガと揺れますよね。でも、洪水は、雨が降ってから起こります。雨が降る前には台風ができていますときもあります。

さっき、「鬼怒川が氾濫したら、〇〇小学校にはすぐに水が来る」って言いましたが、氾濫する前に雨が降ったり、台風が近づいたりするんですね。じゃあ、そんなときに準備をしておけば、ちゃんと逃げられるかもしれませんね。

皆さんも、いきなり「プールに入ります」と言われたら困りますよね。水着を着てないですもんね。でも、「次の時間にプールに入ります」と言われたら、水着に着替えますよね？もっと言えば、「明日プールに入ります」と言われたらどうしますか？今日、家に帰ってから水着の準備をして明日持ってきますよね。それと同じで、「明日氾濫するかもしれません」「もうすぐ氾濫しそうです」と言われれば、それに備えた準備ができますね。それを考えるのが「マイ・タイムライン」です。

#### ○資料1

それでは、まず、「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを見ていきたいと思います。

さっきの青いお姉さんが、右上にいるプリントを出してください。資料1です。

上から順番に進んでいきます。ここ（指しながら）に、「①台風が発生」と書いてあります。皆さんは、天気予報を見ますか？天気予報で「南の海で台風●号が発生しました」って言う時ですね。まだ常総市では雨や風は強くないことが多いです。

次に「②台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる」と書いてあります。雨や風が強くなってくると、お出かけは大変ですね。

その次は「③雨が集まって、川の水がだんだん増える」と書いてあります。この常総市で雨が降ってなくても、上流の栃木県で雨が降れば鬼怒川や小貝川の水は増えてきます。

そして「④激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる」と書いてあります。河川敷ってわかりますか？鬼怒川の橋本町の運動公園では花火大会をやりますね。皆さんも見に行きましたか？あのグラウンドのところを河川敷って言います。普段は水が流れていませんが、雨が激しくなって川の水が増えてくると、あのグラウンドも川になって水が流れます。

その後さらに水が増えると「⑤川の水がいっぱいであふれそう」と書いてあります。写真のように橋のぎりぎりまで、堤防・土手のぎりぎりまで、水が来ちゃうということです。

そして最後、「⑥川の水が氾濫」と書いてあります。川から水があふれて、町が水浸しになるということです。

では、一番左を見てください。⑥の「川の水が氾濫」のところがゼロ時間となっていて、上

---

にいくと⑤が3時間前～5時間前、④が7時間前・・・、ずっとくると①が三日前となっていますね。

これは、氾濫するだいたい何時間前か、何日前かを目安として表しています。「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを三日間と考えるということです。

それでは、その三日間にどう備えれば良いのか、どうすれば上手く逃げることができるのか、考えていきたいと思います。

## ○資料2

それでは、右上に緑の女の子がいるプリントを用意してください。資料2と書かれたものです。

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう～と書いてあります。左側を見てください。

オレンジの枠が上から下まで並んでいますね。順に見ていくと、

「ア 安全な所へ移動を始める」

「イ 避難しやすい服装に着替える」

「ウ 避難するときに持っていく物を準備する」

「エ 今後の台風を調べ始める」

「オ 川の水位を調べ始める」

「カ 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める」

となっています。

さあ、このアからカはどの順番にやっていったらいいと思いますか？

アとイを見てみると、アが「安全な所へ移動を始める」で、イが「避難しやすい服装に着替える」です。どっちが先だと思いますか？

(答えを期待)

そうですね。

着替えてから移動ですね。こんな感じで、並べ替えてみましょう。よーいスタート。

(途中)

遠足に行くときのことを考えると参考になるかもしれませんね。少し前から「晴れるかな？」って天気を確認しませんか？持っていくものを用意して、当日は服を着替えて出かけていきますよね？

さあ時間になりました。それでは、みんなで見ていきましょう。

最初は何にしましたか？

(児童に言ってもらおう)

(期待される答えは↓。違っていた場合は補正する。)

「エ 今後の台風を調べ始める」

---

「ウ 避難するときに持っていく物を準備する」

「カ 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める」

「オ 川の水位を調べ始める」

「イ 避難しやすい服装に着替える」

「ア 安全な所へ移動を始める」

(恐らく、遠足の例を言うことでアとイは最後に誘導できると思われる。情報収集と持ち出し袋の準備が期待どおりの順に並ばない可能性があるため、以下の補正の言葉案を参考に、適宜補正する。)

「エ 今後の台風を調べ始める」

→ 台風が発生したら、まず、日本に近づいてくるのか知りたいよね？

「ウ 避難するときに持っていく物を準備する」

→ 足りない物を買いにいくなら、雨が強くなる前がいいよね？

「カ 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める」

→ 台風が近づいてくると雨が降ってくるんだったよね？

「オ 川の水位を調べ始める」

→ 雨が降り続くと、川の水位が上がってくるんだったよね？

いいですか？今並べかえた、エ→ウ→カ→オ→イ→アの順に備えれば、余裕を持って、慌てずに行動できると思います。

それでは、その右側を見てみましょう。クイズがあるので順に考えていきましょう。

まず、第1問。台風の何を調べる？となっています。Aは台風の進み方、Bは台風の名前です。さあ、どっちでしょうか？

そうですね。台風の進み方です。他にも答えが見つかった人は下に書いておきましょう。(強さ等を想定)

では、第2問。・・・

これでみんなは「川の水が氾濫」するまでの様子と、その時に「どんな備えをすればいいのか」を知ったこととなります。

### ○資料3

それでは、マイ・タイムラインを作ってみましょう。

右上に黄色い男の子が出ているプリントを出してください。資料3です。

きみだけの「マイ・タイムライン」を作ってみようとして書いてあります。

では、順番に見ていきましょう。

まず、左から二列目の紫色の欄を見てください、ここに体育館で勉強した最初のプリント(青いお姉さんのプリント・資料1)の「台風が発生」から「川の水が氾濫」までが入っていま

---

すね。

次に、真ん中のオレンジの空欄のところに、体育館でやった並べ替えクイズのプリント（緑の女の子のプリント・資料2）の備えを書き写していきましょう。

このとき、どのタイミングで行うのが大事ですね。さっきの（左側の）紫色の欄で台風や雨や川の水がどうなっているのかを考えて、いつするのかを考えてみましょう。

「エ 今後の台風を調べ始める」は「台風が発生」のすぐ隣に書いてありますね。天気予報で「台風が発生」って言われたら、日本に来るのか？常総に来るのか？気になりますよね？こんな風に考えてみましょう。

例えば先生は、「川の水が氾濫」したあとだと逃げられないので、その前に避難を完了したいので、「川の水がいっぱいであふれそう」、このタイミングで安全な所へ移動を始めたいと思います。なので、ここに「ア 安全な所へ移動を始める」を入れようと思います。

これは、あくまでも先生の例です。例えば、おばあちゃん・おじいちゃんと一緒に住んでいる人は、移動に時間がかかるかもしれませんね。もっと早くに移動を始めた方がいいかもしれません。

それでは、考えて書き込んでみて下さい。よーいスタート。

難しい場合は、近くの大人や上級生のお兄さん・お姉さんに聞いて下さい。

できましたか？できた人は、もっと詳しく書き込んで行きましょう。

例えば、資料2のクイズの答え、第1問は「台風の進み方」を調べるのでしたね。先生は、「エ 今後の台風を調べ始める」の下に「台風の進み方をチェック」と書いてみます。さらに、先生はテレビで天気予報をみるので「テレビで台風の進み方をチェック」としておきます。

クイズ以外にも、安全に避難するためにするために自分がすることをどんどん書き足してみましょう。右側の備えの（例）も参考にして下さい。よーいスタート。

できましたか。

それでは、どんなことを書いたか、誰かに発表してもらいましょう。

みんなからいろんな行動が出てきましたね。発表を聞いて、気づいたことがあったら自分の逃げ方にもどんどん追加してみましょう。

これで、みんなの「自分の逃げ方、マイ・タイムライン」ができました。でも、これからも気づいたことはどんどん書き込んでくださいね。おうちに帰ったらお父さんやお母さんとも話し合ってみましょう。

そして、次に台風が来たときには、このマイ・タイムラインをよく見て行動しましょう。

今日の勉強は以上です。

### 3. 学校教員への研修

当日授業やサポートを担当してもらう一斉学校防災訓練担当教員以外の学校教員に、マイ・タイムラインの考え方や、当日の実施方法を学んでいただくことを目的に研修を行った。

研修では、実際に当日のマイ・タイムライン作成の授業の流れを体験していただくとともに、使用教材や実施方法についての意見交換を実施し、意見交換の内容を使用教材や実施方法の改善に活用した。

#### 3.1 大生小学校（平成 29 年 7 月 31 日）

■日時：平成 29 年 7 月 31 日（月） 9：30～10：30

■場所：常総市立大生小学校

■参加者：大生小学校教員（10 名）、

下館河川事務所調査課（星尾調査課長、成田専門官、渡邊技官）

■概要：大生小学校教員（出席可能な全教員）にマイ・タイムライン及び水防災の取り組みについて学んでいくとともに、9月1日の防災教育を進めるための意見交換を実施。

■議事概要：

時間	項目	概要
9：00	マイ・タイムライン等について	水防災の取り組み及びマイ・タイムラインについて説明
9：20	当日の流れについて	河川事務所より当日の進め方と使用教材案について説明 河川事務所職員が講師となり、先生方に児童が受ける当日の授業を実際に体験してもらい、自分自身のマイ・タイムラインを作成
10：15	意見交換	（全般） 川から水があふれるまでの並べ替えは、体育館で全学年を対象に河川事務所が説明し、クイズとマイ・タイムラインの作成は、各教室で地区別班を対象に担任が授業をすることを確認 2年前の氾濫水の動画は放映しないことを確認 全学年を対象とするため、配布資料にふりがなをつけることを確認 マイ・タイムラインの作成については、家族で話し合ってもらいたいため、できるところまで授業中で実施し残りは宿題とすることを確認 （学校からの意見） ・並び替えクイズの答えの発表及びグループで話し合う時間がとりたい

		<p>→時間の関係から発表は全員ではなく数名の児童が実施し、クイズの答えをグループで考える時間をとることとする (その他)</p> <p>資料を修正し送付する</p> <p>今日体験してもらった授業の流れのシナリオ（読み原稿）についても参考に送付する</p>
--	--	---

■配布資料：

資料 NO.	資料名称
スライド 1～4	自分の逃げ方「マイ・タイムライン」をつくろう！！ ～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～ (P. 20)
資料 1	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！ (P. 21)
資料 2	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！ (P. 22)
資料 3	きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！ (P. 23)
資料 4	みんなで作ろう！マイ・タイムライン (P. 24～26) ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～

■実施状況記録：

		
校長先生の挨拶	本日の流れを 糸賀先生より説明	調査課長よりマイ・タイム ラインについて説明
		
当日の流れを確認	マイ・タイムラインを作成	意見交換の様子

### 3.2 水海道小学校（平成 29 年 8 月 21 日）

■日時：平成 29 年 8 月 21 日（月） 13：00～14：30

■場所：常総市立水海道小学校

■参加者：水海道小学校教員（4 名）、下館河川事務所調査課（星尾調査課長）

■概要：水海道小学校の教員（一斉学校防災訓練担当教員、当日講師を担う 5、6 年生担当教員）にマイ・タイムラインと水防災の取り組みについて学んでもらうとともに、9 月 1 日の防災教育を進めるための意見交換及び確認を実施。

■議事概要：

時間	項目	概要
13:00	マイ・タイムライン等について	水防災の取り組み及びマイ・タイムラインについて説明
13:20	当日の流れについて	河川事務所より当日の進め方と使用教材案について説明 河川事務所職員が講師となり、先生方に児童が受ける当日の授業を実際に体験してもらい、自分自身のマイ・タイムラインを作成
14:10	意見交換	（全般） 各教室で担任が授業をすることを確認 5、6 年生が実施するため、難易度も問題ないことを確認 マイ・タイムラインの作成については、当日の時間が限られることと、家族で話し合ってもらいたいため、できるところまで授業中に実施し残りは宿題とすることを確認 （学校側からの意見） ・並び替えクイズの答えの発表及びグループで話合う時間がとりたい →時間の関係から発表は全員ではなく数名の児童が実施し、クイズの答えをグループで考える時間をとることとする ・選択クイズだけでなく、考えるような問題を入れられないか →避難所に持っていくものを考えるクイズを追加 （その他） 資料を修正し送付 今日体験してもらった授業の流れのシナリオ（シナリオ原稿）についても参考に送付

---

■配布資料：

資料 NO.	資料名称
スライド 1～4	自分の逃げ方「マイ・タイムライン」をつくろう！！ ～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～ (P. 20)
資料 1	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！ (P. 21)
資料 2	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！ (P. 22)
資料 3	きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！ (P. 23)
資料 4	みんなで作ろう！マイ・タイムライン (P. 24～26) ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～
資料 5	シナリオ原稿 (案) (P. 29～33)

### 3.3 豊田小学校（平成 29 年 8 月 21 日）

■日時：平成 29 年 8 月 21 日（月）

■場所：常総市立豊田小学校

■参加者：豊田小学校教員（8 名）、下館河川事務所調査課（星尾調査課長）

■概要：豊田小学校の教員（出席可能な全教員）にマイ・タイムライン及び水防災の取り組みについて学んでもらうとともに、9月1日の防災訓練を進めるための意見交換及び確認を実施。

■議事概要：

時間	項目	概要
	マイ・タイムライン等について	水防災の取り組み及びマイ・タイムラインについて説明
	当日の流れについて	河川事務所より当日の進め方と使用教材案について説明 河川事務所職員が講師となり、先生方に児童が受ける当日の授業を実際に体験してもらい、自分自身のマイ・タイムラインを作成
	意見交換	（全般） 全校児童を体育館に集めて、河川事務所職員が講師となり実施することを確認 授業当日については1～6年生の登校班ごとに、班で1つのマイ・タイムラインを作ることを確認 （班での作成のため、個人状況を踏まえにくい点をフォローするため、クイズの回答を選択ではなく自由記載にするとともに、家に帰ってから、各家庭での作成を促すことを確認） （学校側からの意見） ・やってみないとわからない部分があるが、特に低学年には少し難しいかもしれない →各班に大人（教員、消防団、市役所、筑波大学生）を割り振ってフォローする ・並べ替えについて書き込みではなく、各行動を書いたカードを並べ替えるようにできないか →学校側でカードを作成してもらう

■配布資料：

資料 NO.	資料名称
スライド 1～4	自分の逃げ方「マイ・タイムライン」をつくろう！！ ～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～ (P. 20)
資料 1	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！ (P. 21)
資料 2	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！ (P. 22)
資料 3	きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！ (P. 23)
資料 4	みんなで作ろう！マイ・タイムライン (P. 24～26) ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～
資料 5	シナリオ原稿 (案) (P. 29～33)

## 4. 関係者との打合せ

当日授業やサポートを担当してもらう筑波大学の学生に、マイ・タイムラインの考え方や、当日の実施方法を理解してもらうことを目的に打合せを実施した。

また、茨城県、常総市に対しては、当日資料やシナリオを共有するとともに、電話、メールにて当日の調整を行った。

### 4.1 筑波大学事前打合せ（平成 29 年 8 月 28 日）

■日時：平成 29 年 8 月 28 日（月） 10：00～11：00

■場所：筑波大学システム情報系社会工学域

■参加者：白川准教授、筑波大学学生（10 名）、

下館河川事務所調査課（星尾調査課長、成田専門官、豊原専門員、渡邊技官）

■概要：当日授業やサポートを担当してもらう学生に対して、マイ・タイムラインについて解説してもらうとともに、当日の流れ、役割を説明し、実施に向けた最終調整を実施。

■議事概要：

時間	項目	概要
10:00	マイ・タイムライン等について	マイ・タイムラインについて説明（目的、内容、これまでの取り組み等）
10:15	当日の流れ・役割について	河川事務所より当日の進め方と資料について説明 イメージを持ってもらうため、河川事務所職員が講師となり、大学生に児童が受ける当日の授業を実際に体験してもらい、自分自身のマイ・タイムラインを作成 菅原小学校については、大学生に講師を依頼。その他の学校については、サポートを依頼
10:45	意見交換	（全般） マイ・タイムラインの「主な備え」の部分について正解はないため、子供達の考えを尊重する。 質問回答が不明の場合は、河川事務所職員や学校の先生に確認する

■配布資料：

資料 NO.	資料名称
スライド 1～4	自分の逃げ方「マイ・タイムライン」をつくろう！！ ～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～ (P. 20)
資料 1	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！ (P. 21)
資料 2	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！ (P. 22)
資料 3	きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！ (P. 23)
資料 4	みんなで作ろう！マイ・タイムライン (P. 24～26) ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～
資料 5	シナリオ原稿 (案) (P. 29～33)
資料 6	ご自宅に戻ったらみなおしてみましよう (P. 27～28)

## 5. 報道発表資料

平成 29 年度常総市小中学校一斉学校防災訓練は常総市主催の取り組みであり、その取り組みの 1 つとして、マイ・タイムライン作成を行うものであるため、常総市教育委員会、防災危機管理課と調整を行い、常総市小中学校一斉学校防災訓練の全般に関することは常総市教育委員会を問合せ窓口とし、その中の「マイ・タイムライン作成」に関することは、下館河川事務所を問合せ窓口とした。

(1) 平成 29 年 8 月 25 日 (金)



### 記者発表資料

#### 常総市内の小中学校において、「マイ・タイムライン」づくりに取り組みます

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川上下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、「みんなのタイムラインプロジェクト」を推進しています。

また、9月3日から10日を「水防災意識強化週間」と定め、鬼怒川・小貝川に関する地域において、住民一人ひとりが平成27年9月の関東・東北豪雨を風化させずに、常に水防災を意識する社会を再構築するよう集中的に普及・啓発活動等に取り組みます。

この取り組みの一環として、9月1日に常総市で実施される平成29年度常総市小中学校一斉学校防災訓練の中で、6校の小中学校が、洪水への備えと自らの逃げ方を考える「マイ・タイムライン」の作成に取り組みます。

- 1. 実施日**  
平成 29 年 9 月 1 日 (金)
- 2. 時間・場所**  
常総市内の小中学校のうち 1 校を指定 (調整中)  
決定次第、取材登録をいただいた方に時間と場所をご連絡いたします。
- 3. 内容**  
平成 29 年度常総市小中学校一斉学校防災訓練 (※) の一環で、生徒や保護者を対象とした防災教育として、自分自身の防災行動「マイ・タイムライン」づくりに取り組みます。  
(※) 平成 29 年度常総市小中学校一斉学校防災訓練は、常総市内の全ての小中学校で一斉に実施される防災訓練です。詳細については、常総市にお問合せください。
- 4. 取材等**  
対応の準備のため、事前登録制とさせていただきます。取材を希望される場合は、別添の登録書に記入の上、8 月 30 日 (水) 15 時までに FAX にて送付をお願いいたします。

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、古河記者クラブ、古河地方記者クラブ、取手記者会、筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

#### 問い合わせ先

(「マイ・タイムライン」づくりに関すること)  
下館河川事務所  
副 所 長 いしだ かずや 石田 和也 (内線 205) TEL : 0296-25-2161 (代表)  
調査課長 ほしお あきら 星尾 日明 (内線 351) TEL : 0296-25-2171 (直通)

(常総市小中学校一斉学校防災訓練に関すること)  
常総市 教育委員会 学校教育課  
課 長 吉山 貴司 (内線 8201) TEL : 0297-23-2111 (代表)

# マイ・タイムラインとは…

参考資料 1



マイ・タイムラインの検討の過程で…

- ❗ リスクを認識できる
  - ・自分の家が浸水してしまう
  - ・避難所まで遠い など
- ❗ 逃げるタイミングがわかる
  - ・いつ逃げる?
  - ・誰と逃げる?
  - ・危険な場所をよけて逃げるには?
- ❗ コミュニケーションの輪が広がる
  - ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
  - ・ご近所とのつながりが強く、太くなる

マイ・タイムラインができると…

- ❗ 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ❗ 災害時の判断をサポート

**逃げ遅れゼロ**

鬼怒川・小貝川上下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 『水防災意識社会』の再構築を目指します。

参考資料 2

# あの日も おそれない

あの日も、と言われぬ最近の嵐の時が。  
自命と大別なく、のちを守るために  
あの一瞬、救済の心を忘れず、

～逃げ遅れゼロを目指して～

## 水防災意識強化週間

期間中の主な企画(予定)

- お天啓キッズとつくろう マイ・タイムライン
- 「あの日」の逃げ方を考えよう
- 「あの日」から明日へ～水防災意識強化協議会の再構築ハズレ展
- 鬼怒川プロジェクト現地学習会

9/3日 9/10日

鬼怒川・小貝川上下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会  
鬼怒川・小貝川上下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

〒310-0201 茨城県常陸那珂市常陸那珂 1-1-1 常陸那珂市常陸那珂 1-1-1  
TEL: 0296-25-2611 FAX: 0296-25-2612

常陸那珂市常陸那珂 1-1-1 常陸那珂市常陸那珂 1-1-1

## 6. 各学校の実施内容

### 6.1 実施内容一覧（平成 29 年 9 月 1 日）

9 月 1 日に実施された防災教育（マイ・タイムライン作成）に関する各学校の実施内容を一覧表に示す。

学校	対象 学年	人数 (名)	実施 単位	実施 時間	実施内容及び講師			
					スライド	資料 1	資料 2	資料 3
					洪水 リスク	氾濫まで を知る	備えを 考える	マイ・タイム ライン作成
大生 小学校	全学年	150	地区別で実施 (1 地区約 20 名)	13:30 ～ 14:40	事務所	事務所	事務所 学校教員	学校教員 (宿題)
鬼怒 中学校	全学年	180	クラス (1 グ ループ約 30 名)	13:15 ～ 15:10	学校教員	学校教員	学校教員	学校教員
菅原 小学校	5, 6 学年	30	5, 6 年生がま じった班 (1 グループ約 6 名)	13:50 ～ 14:50	大学生	大学生	大学生	大学生 (宿題)
豊田 小学校	全学年	122	1～6 年生の縦 割班 (1 グル ープ約 6 名)	13:20 ～ 15:00	事務所	事務所	事務所	事務所
水海道 小学校	5, 6 学年	130	クラス (1 ク ラス約 6 名)	13:50 ～ 14:30	学校教員	学校教員	学校教員	学校教員 (宿題)
三妻 小学校	全学年	215	通学班 (1 班 約 30 名)	13:30 ～ 14:20	学校教員	学校教員	学校教員	学校教員 (宿題)

## 6.2 各学校の実施状況

### 6.2.1 大生小学校

■日時：平成29年9月1日（金） 13：30～14：40

■対象学年：全学年（約150名）

■一斉学校防災訓練担当教員：糸賀先生

■参加者：児童（約150名）、学校教員（約10名）、保護者（約100名）、水海道消防団、常総市（1名）、茨城県（1名）、下館河川事務所（4名）

■役割：

講師：下館河川事務所、学校教員

サポート：保護者、水海道消防団、常総市、茨城県、下館河川事務所

■場所：常総市立大生小学校（体育館・各教室）

■概要：下館河川事務所を講師として、洪水リスクと「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの勉強を体育館で実施した後、各地区ごとに各教室に移動し、学校教員が講師となりマイ・タイムライン作成を実施。

マイ・タイムラインの作成時間内に終わらなかった児童については、宿題として持ち帰り家庭内で実施。

■使用教材：（基本となる使用教材を使用）

資料名称	備考
自分の逃げ方 「マイ・タイムライン」をつくろう！！ ～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～（P.20）	スライド
【資料1】（P.21） 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！	配布資料
【資料2】（P.22） 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！	配布資料
【資料3】（P.23） きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！	配布資料
みんなで作ろう！マイ・タイムライン（P.24～26） ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～	配布資料
ご自宅に戻ったらみんなでみなおしてみましよう（P.27～28）	配布資料

■防災教育概要：

時間	項目	概要
13：30	開会	
13：30	体育館で資料1、資料2を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館で全校児童に対して、スライドによりマイ・タイムラインの説明を実施（事務所説明）</li> <li>・資料1により「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを説明（事務所説明）</li> <li>・資料2により「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えについて説明し、防災行動の並び替えを実施（事務所説明）</li> </ul>
13：40	移動	・体育館から各教室（7教室）＋特別教室へ移動
13：50	各教室で資料2、資料3を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区毎（約20名）に、子供向けのマイ・タイムラインを親子で一緒に考える</li> <li>・資料2により、防災行動のクイズを実施（先生説明）</li> <li>・資料3により、マイ・タイムラインを作成（先生説明）</li> </ul>
14：40	移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は自分の教室に移動し、待機</li> <li>・保護者はふれあい教室、図書室、理科室に移動し、待機</li> </ul>
14：50	避難訓練及び引き渡し訓練開始	

■マイ・タイムライン作成に関する実施状況記録：

		
校長先生の進行	石田副所長の挨拶	石田副所長から説明
		
説明を聞く児童	防災行動並び替えの様子	

		
小山戸地区の様子	相野谷地区の様子	中山地区の様子
		
新井木地区の様子	長助地区の様子	兵・箕輪・平地区の様子
		
大崎・下十花地区の様子	上十花・東・仲新田地区の様子	マイ・タイムライン作成の様子
		
マイ・タイムライン作成の様子		
		
マイ・タイムライン作成の様子	マイ・タイムライン発表の様子	

## 6.2.2 鬼怒中学校

■日時：平成29年9月1日（金） 13:00～15:20

■対象学年：全学年（約180名）

■一斉学校防災訓練担当教員：国府田先生

■参加者：生徒（約180名）、学校教員（約10名）、保護者（2名）、常総市消防団（3名）、筑波大学（讃井知さん、河田昂さん、藤原誠士さん）、常総市（1名）、下館河川事務所（2名）

■役割：

講師：各担当教員

サポート：常総市消防団、筑波大学、常総市、下館河川事務所

■場所：常総市立鬼怒中学校（各教室）

■概要：中学生を対象とするため、基本となる使用教材よりも難易度の高い、学校関係者との第2回打合せ資料（P.14～16）を使用し、学校教員を講師として、各クラス内で班に分かれてマイ・タイムラインの作成を実施。

■使用教材：（学校関係者との第2回打合せ資料（P.14～16）を使用）

資料名称	備考
【資料1】（P.14） 「台風が発生」してから「川の水があふれる」までの動き	配布資料
【資料2】（P.15） 「台風が発生」してから「川の水があふれる」までの間の行動を考える	配布資料
【資料3】（P.16） 主な防災行動を行うために確認しておくことをクイズにしてみる	配布資料
みんなでつくろう！マイ・タイムライン ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～（P.24～26）	配布資料
ご自宅に戻ったらみなおしてみましよう（P.27～28）	配布資料

■防災教育概要：

時間	項目	概要
13：00	開会	
13：00	各教室で資料1、資料2、資料3を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1グループ6人となり、資料1により「台風が発生」してから「川の水があふれる」までの順番をグループで考える</li> <li>・ 各グループの答えを発表</li> <li>・ 資料2により「台風が発生」してから「川の水があふれる」までの間の行動をグループで討議、主な防災行動の事例にない行動も議論</li> <li>・ 資料3により、主な防災行動を行うために確認しておくことのクイズ作成</li> <li>・ グループ内でクイズの答えを議論</li> <li>・ 各グループで考えた複数のクイズと答えを発表</li> </ul>
14：00	移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館へ移動</li> </ul>
14：10	防災フォーラム全大会（体育館）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内閣府インターネットテレビ（DVD）による鑑賞</li> <li>・ 消防団による講話を実施</li> <li>・ 常総市、下館河川事務所の講評</li> <li>・ 校長先生のお話</li> </ul>

■マイ・タイムライン作成に関する実施状況記録：



授業の様子



防災行動並び替えの様子



防災行動並び替えの結果



講評の様子

### 6.2.3 菅原小学校

■日時：平成29年9月1日（金） 13:50～14:50

■対象学年：5、6学年（約30名）

■一斉学校防災訓練担当教員：関先生

■参加者：児童（約30名）、学校教員（4名）、保護者・菅原っ子見守り隊（約10名）、筑波大学（岸田まりなさん）、常総市（1名）、下館河川事務所（1名）

■役割：

講師：筑波大学大学院システム情報工学研究科博士前期課程1年岸田まりなさん

サポート：PTA本部役員、保護者・菅原っ子見守り隊、常総市、下館河川事務所

■場所：常総市立菅原小学校（視聴覚室）

■概要：筑波大学の学生を講師として、教室内で5、6年生混合の班に分かれ、洪水リスクと「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの勉強と、マイ・タイムラインの作成を実施。マイ・タイムラインの作成が時間内に終わらなかった児童については宿題として持ち帰り家庭内で実施。

■使用教材：（基本となる使用教材のクイズの内容を一部修正して使用）

資料名称	備考
自分の逃げ方「マイ・タイムライン」をつくろう！！ ～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～（P.20）	スライド
【資料1】（P.21） 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！	配布資料
【資料2】（P.22） 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！	配布資料
【資料3】（P.23） きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！	配布資料
みんなでつくろう！マイ・タイムライン（P.24～26） ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～	配布資料
ご自宅に戻ったらみなおしてみましよう（P.27～28）	配布資料

■防災教育概要：

時間	項目	概要
13：50	開会	
13：50	視聴覚室で防災訓練の内容説明	校長先生のお話
14：00	視聴覚室で資料1、資料2、資料3を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5、6年生の混合した班（約6名）で、マイ・タイムラインを作成</li> <li>・資料1により「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを説明（筑波大説明）</li> <li>・資料2により「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えについて説明し、防災行動の並び替えを実施（筑波大説明）</li> <li>・資料2により、防災行動のクイズを実施（筑波大説明）</li> <li>・資料3により、保護者とマイ・タイムラインを作成</li> </ul>
14：50	引き渡し訓練準備・開始	

■マイ・タイムライン作成に関する実施状況記録：

	
開催前の様子	説明を聞く児童
	
説明を聞く児童	



説明を聞く児童



防災行動並び替えの様子



マイ・タイムライン作成の様子



マイ・タイムライン作成の様子



マイ・タイムライン作成の様子

## 6.2.4 豊田小学校

■日時：平成29年9月1日（金） 13：20～15：00

■対象学年：全学年（約122名）

■一斉学校防災訓練担当教員：浦和先生

■参加者：児童（約122名）、学校教員（約10名）、常総市消防団（4名）、安全協会（3名）、交通安全母の会（2名）、筑波大学（渡邊麻里乃さん）、常総市（2名）、下館河川事務所（2名）

■役割：

講師：下館河川事務所

サポート：各担当教員、常総市消防団、筑波大学、常総市

■場所：常総市立豊田小学校（体育館）

■概要：下館河川事務所を講師として、体育館に全校児童が集まり、地区ごとの班に分かれて、洪水リスクと「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの勉強とマイ・タイムラインの作成を実施。実施にあたっては、各班1枚大判印刷を配布し、それに班で考えた意見を書き込む形で実施。

■使用教材：（基本となる使用教材を基に、班での議論がしやすいよう大判（A0サイズ）の資料を作成し使用）

資料名称	備考
自分の逃げ方「マイ・タイムライン」をつくろう！！ ～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～（P.20）	スライド
【資料1】（P.21） 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！	配布資料
【資料2】（P.22） 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！	配布資料
【資料3】（P.23） きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！	配布資料
みんなで作ろう！マイ・タイムライン ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～（P.24～26）	配布資料
ご自宅に戻ったらみなおしてみましよう（P.27～28）	配布資料

■防災教育概要：

時間	項目	概要
13：20	開会	
13：30	体育館で資料1、資料2、資料3を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館で全校生徒に対して、スライドにより「関東・東北豪雨災害の振り返り」の説明を実施（防災士説明）</li> <li>・体育館で全校生徒に対して、スライドによりマイ・タイムラインの説明を実施（事務所説明）</li> <li>・資料1により「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを説明（事務所説明）</li> <li>・資料2により「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えについて説明（事務所説明）</li> <li>・1～6年生の縦割り班（約6名）で、資料2の大判（A0サイズ）及びカードを使って防災行動の並び替え及びクイズを実施（グループに1枚作成）（事務所説明）</li> <li>・資料3の大判（A0サイズ）により、マイ・タイムラインを作成（事務所説明）</li> </ul>
14：20	移動	・各学年の教室へ移動
14：35	避難訓練及び引き渡し訓練	

■マイ・タイムライン作成に関する実施状況記録：

		
<p>開催前の説明</p>	<p>防災士の説明</p>	<p>星尾調査課長の説明</p>
		
<p>星尾調査課長の説明</p>	<p>防災行動並び替えの様子</p>	
		
<p>防災行動並び替えの様子</p>		
		
<p>マイ・タイムライン作成の様子</p>		

## 6.2.5 水海道小学校

■日時：平成29年9月1日（金） 13:50～14:30

■対象学年：5、6学年（約130名）

■一斉学校防災訓練担当教員：塚田先生

■参加者：児童（約130名）、学校教員（5名）、保護者、常総市消防団（8名）、筑波大学（篠崎由依さん、南波祐生さん、田川未来也さん、仲田英人さん）、常総市（2名）、下館河川事務所（3名）

■役割：

講師：学校教員

サポート：常総市消防団、筑波大学、常総市、下館河川事務所、

■場所：常総市立水海道小学校（各教室（4クラス））

■概要：学校教員を講師として、防災行動の並べ替え及びクイズを実施

■使用教材：（基本となる使用教材のうち、資料2のクイズの内容を一部変更して使用）

資料名称	備考
自分の逃げ方「マイ・タイムライン」をつくろう！！ ～「川から水があふれるまで」と「どんな備えをすればいいか」～（P.20）	スライド
【資料1】（P.21） 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！	配布資料
【資料2】（P.22） 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！	配布資料
【資料3】（P.23） きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！	配布資料
みんなでつくろう！マイ・タイムライン ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～（P.24～26）	配布資料
ご自宅に戻ったらみなおしてみましよう（P.27～28）	配布資料

■防災教育概要：

時間	項目	概要
13：30	開会	
13：30	各教室で資料1、資料2を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室で5、6年生に対して、スライドによりマイ・タイムラインの説明を実施（先生説明）</li> <li>・資料1により「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを説明（先生説明）</li> <li>・資料2により「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えについて説明し、防災行動の並び替えを実施（先生説明）</li> <li>・1グループ5人ごとに、資料2により、防災行動のクイズを実施</li> <li>・並び替えクイズの発表</li> <li>・資料3は家庭に持ち帰って、お家の人と話し合っ、マイ・タイムラインを作成する</li> </ul>
14：30	避難訓練及び引き渡し訓練開始	

■マイ・タイムライン作成に関する実施状況記録：

	
開催前の様子	説明を聞く児童
	
説明を聞く児童	



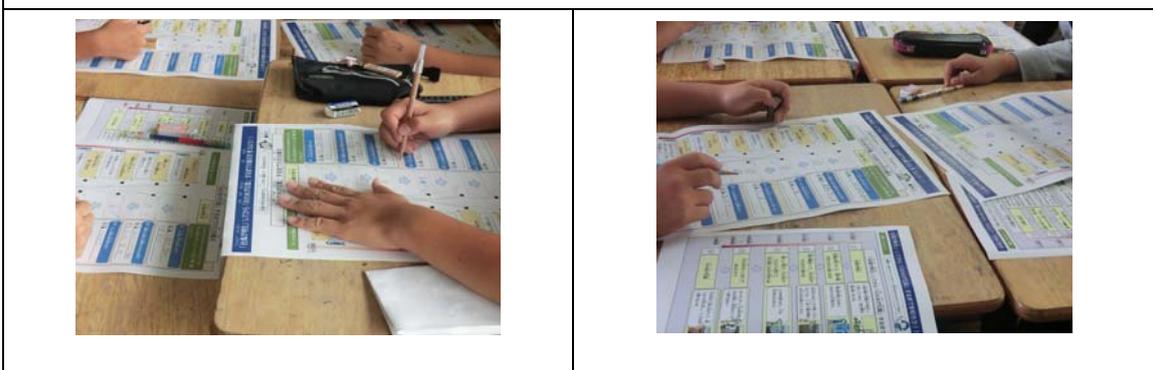
防災行動並び替えの様子



防災行動並び替えの様子



防災行動並び替えの様子



防災行動並び替えの様子

## 6.2.6 三妻小学校

■日時：平成29年9月1日（金） 13：30～14：20

■対象学年：全学年（約215名）

■一斉学校防災訓練担当教員：石塚先生

■参加者：児童（約215名）、学校教員（約10名）、保護者（約20名）、学校評議員（2名）、常総市消防団、筑波大学（白川准教授、肥田野美琴さん）、常総市長、常総市（2名）、茨城県（2名）下館河川事務所（3名）

■役割：

講師：学校教員

サポート：PTA ボランティア、常総市消防団、筑波大学、常総市、下館河川事務所

■場所：常総市立三妻小学校（各教室）

■概要：学校教員を講師として、各地区で各教室に分かれて、基本となる使用教材を基にした学校オリジナルの資料で、洪水リスクと「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの勉強と、マイ・タイムラインの作成を実施

■使用教材：基本となる使用教材を基にした学校オリジナルの資料を作成し、使用（P.64～71）

■防災教育概要：

時間	項目	概要
09：20～ 09：50	防災教育に関するお話 (5、6年)	・水害による避難の体験及びマイ・タイムラインの必要性。講師：根新田地区代表 鈴木孝八郎先生
13：00	授業実施前の説明	・防災教育の実施内容を保護者に説明
13：30	開会	
13：30	各教室で資料1、資料2 を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区毎（約7名）の児童に対して、スライドにより平成27年9月「関東・東北豪雨」の様子、マイ・タイムラインの説明を実施（先生説明）</li> <li>・「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを説明し、「台風が発生」してから「川の水が氾濫」までのカードの並べ替えを実施（先生説明）</li> <li>・「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えについて説明し、防災行動のキーワードの並び替えを実施（先生説明）</li> <li>・「安全な場所にたどり着く」ための確認クイズを実施（先生説明）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの記入を実施</li> <li>・資料3は家庭に持ち帰って、お家の人と話し合っ、マイ・タイムラインを作成</li> </ul>
14:20	移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の教室へ移動</li> </ul>
14:30	避難訓練及び引き渡し訓練	

■マイ・タイムライン作成に関する実施状況記録：

		
授業前の説明		説明を聞く児童
		
説明を聞く児童		防災行動並び替えの様子
		
防災行動並び替えの様子		

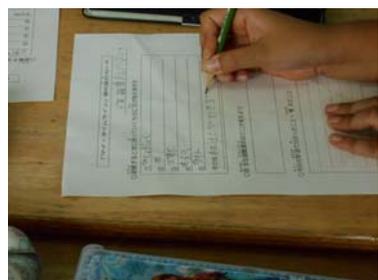


防災行動並び替えの様子

並び替え発表の様子

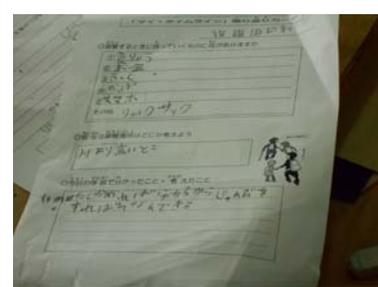
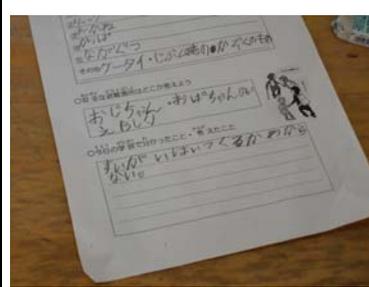
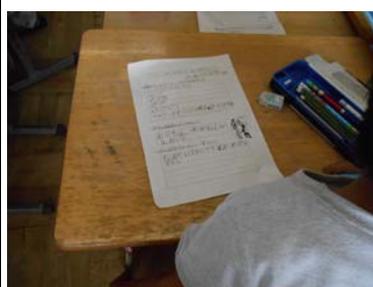


防災行動並び替え発表の様子



防災行動並び替え発表の様子

学習の振り返り



学習の振り返り

# 防災ワークショップ

## 学習の流れ

- ① 2年前の水害  
ねんまえ すいがい
- ② マイ・タイムライン  
をつくらう
- ③ 正しい順番にカードを  
並べ替えよう～  
ただ じゆんばん なら か
- ④ 学習の振り返り  
アドバイザー  
の方のお話  
がくしゆう ふ かえ はなし

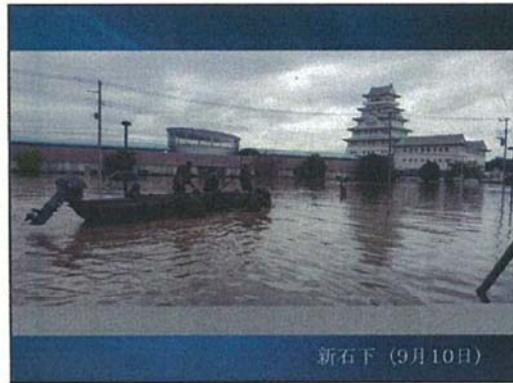




砂場地区 (9月14日)



根新田地区 (9月14日)

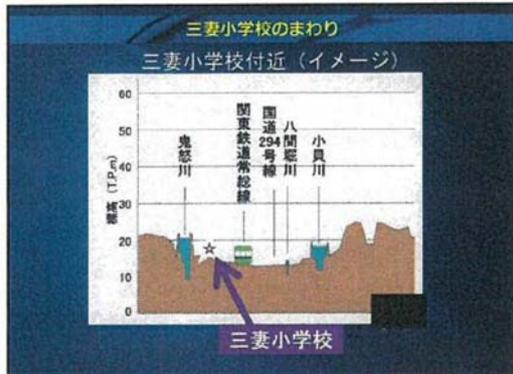


新石下 (9月10日)



上三坂地区 (9月15日)





自分の命を守るためにどうすればいい？

じしん  
地震はいきなりやってくるけど

こうすい  
洪水はだんだんやってくるよ！

マイ・タイムラインを作ろう  
マイ・タイムラインとは？

大雨が降ると、川にたくさんの水が流れこみ、この水が多すぎると堤防(ていぼう)から町に水がながれてきてしまいます。

町に流れてくる水は、いきおいが強く、家が流されたりしますので、川から水があふれる前に安全な高い場所に移動することが大事です。

マイ・タイムライン①

「台風が発生」から

「川の水がはんらん」まで

川から水があふれる前に安全な場所に移動するためには、それなりの準備をしないとけません。いざというときには、あわててしまいますので、普段から何をしたらよいかを整理しておくことが大事です。

タイムラインは、川があふれる前にどの時間にどのような準備をするかを考えておくものです。

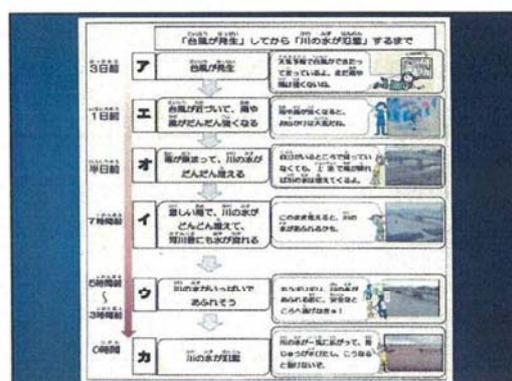
ア 台風が発生

カ 川の水がはんらん

<p><b>イ</b> 川から水が増えて河川敷にも流れる</p> 	<p><b>ウ</b> 川の水がいっぱい</p> 
<p><b>エ</b> 台風が近づいて雨や風がどんどん強くなる</p> 	<p><b>オ</b> 川の水がだんだん増える</p> 

**マイ・タイムライン②**  
**「台風が発生」から**  
**「避難完了**  
**(ひなんかんりょう)**  
**までの備(そな)えを**  
**考えよう**

各班からの発表



- |                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| <b>ア.</b> 安全な所へ移動を始める       | <b>イ.</b> 避難しやすい服装に着替える      |
| <b>ウ.</b> 避難する時に持っていく物を準備する | <b>エ.</b> 今後の台風を調べ始める        |
| <b>オ.</b> 川の水位を調べ始める        | <b>カ.</b> 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める |

# 各班からの発表

ア 安全な所へ  
移動を始める

避難(ひなん)完了(かんりょう)

川の水がはんらん

台風が発生

エ 今後の台風を  
調べ始める

ウ 避難する時に持って  
いく物を準備する

# 今日の学習の 振り返り

カ 住んでいる所と上流  
の雨量を調べ始める

オ 川の水位を  
調べ始める

イ 避難しやすい  
服装に着替える

わが家の  
マイ  
タイムライン  
をつくろう



# わが家の『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！



みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えが『マイ・タイムライン』だよ！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！

年 組 氏名

## 常総市 地区 わが家のマイ・タイムライン 作成年月日 年 月 日

<p>最大までの おおよその 時間</p> <p>3日前</p> <p>2日前</p> <p>1日前</p> <p>平日前</p> <p>5時間前</p> <p>3時間前</p> <p>0時間</p>	<p>行政から発信される情報 ○台風予報 ○台風に関する気象速報 ○気象庁からの注意情報(速報)</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○台風に関する気象の経過 ○大気観測・気象庁速報</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○気象庁からの注意情報(速報) ○気象庁からの注意情報(速報)</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○気象庁からの注意情報(速報)</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○気象庁からの注意情報(速報)</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○気象庁からの注意情報(速報)</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○気象庁からの注意情報(速報)</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○気象庁からの注意情報(速報)</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○気象庁からの注意情報(速報)</p> <p>○大気観測・気象庁速報 ○気象庁からの注意情報(速報)</p>	<p>台風が発生 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで</p> <p>台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる</p> <p>雨が降って、川の水がだんだん増える</p> <p>激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる</p> <p>川の水位がいっぱいであふれそう</p> <p>川の水位が氾濫</p>	<p>主な備え</p> <p>いつ、どんな備えをしたら良いか考えてみよう！</p> <p>避 難 元 了</p> <p>書き込んだ備えを、より詳しく考えてみよう</p>	<p>備えの(例)</p> <p>○今後の台風を調べ始める 雨や風が強くなる前にすませておこう。</p> <p>○1週間分の食料を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める</p> <p>○携帯電話の充電 ○川の水位を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○避難する時に持っていくものを準備する</p> <p>○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>命を守ろう！</p> <p>○携帯メールで避難報告、避難指示を受信 ○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどこ？ ・近くの避難所？ ・ピザ店・ホテル？ ・となりの避難所？ ・親戚の家？・・・ 考えてみよう！</p>
--	--	---	--	---

「わが家のマイ・タイムライン」を作成した感想

○児童の感想

○保護者の感想



2年前にマイ・タイムラインがあった役に立ったとおもいます  
「はい」か「いいえ」にまるをつけてね！

はい いいえ

○9月中に完成させて担任の先生まで提出してください。

「マイ・タイムライン」<sup>ふ</sup> <sup>かえ</sup> 振り返りカード

ねん <sup>なまえ</sup>  
年 名前

○<sup>ひなん</sup>避難するときに<sup>も</sup>持っていくものに<sup>なに</sup>何がありますか

①
②
③
④
⑤
その他

○<sup>あんぜん</sup>安全な<sup>ひなんばしょ</sup>避難場所はどこか考えよう

--



○<sup>きょう</sup>今日の<sup>がくしゅう</sup>学習で<sup>わ</sup>分かったこと・<sup>かんが</sup>考えたこと

.....
.....
.....
.....
.....

# 7. 児童が作成したマイ・タイムラインの代表事例

## 7.1 大生小学校

防災教育で児童が作成したマイ・タイムラインの一例を添付する。

※一部個人情報等に関係する部分は、マスキング処理を実施しています。

1ねん

### きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう!!

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの流れをいつか行けるが書いてみよう!

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの流れが『マイ・タイムライン』だよ!

資料3

常総市 地区 家 マイ・タイムライン 作成年月日 年 月 日

項目	行政から発表される情報	主な備え	備えの(前)
3日前	行政から発表される情報 例: 気象・水害情報 県: 常総市 町: 常総市 区: 常総市 町: 下野田川事務所 特: 常総市	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで 台風が発生	○今後の台風を調べ始める
2日前	○気象情報 ○気象に関する紙媒体、気象庁気象情報	台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる	○通関分の車を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で川の様子に注意 ○避難する時に持って行く物を準備する
1日前	○気象情報・洪水注意報 ○気象に関する紙媒体 ○気象情報・洪水注意報	雨が集まって、川の水がだんだん増える	○携帯電話の充電 ○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める
事前	○気象情報・洪水注意報 ○気象に関する紙媒体 ○気象情報・洪水注意報 ○気象情報・洪水注意報 ○気象情報・洪水注意報	激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が溢れる	○ハザードマップで避難場所、避難学校を確認 ○川の水位を調べ始める
避難前	○気象情報・洪水注意報 ○気象に関する紙媒体 ○気象情報・洪水注意報	川の水位が上がり、川の水が溢れそう	○通行止の情報が無いインターネットで確認 ○携帯メール等で避難準備情報の受信
避難中	○気象情報・洪水注意報 ○気象に関する紙媒体 ○気象情報・洪水注意報	川の水位が上がり、川の水が溢れそう	○避難しやすい服装に着替える ○避難しやすい服装に着替える
避難後	○気象情報・洪水注意報 ○気象に関する紙媒体 ○気象情報・洪水注意報	川の水位が上がり、川の水が溢れそう	○携帯電話で避難準備、避難指示を受信 ○安全な所へ移動を始める

この作業を受けた感想を教えてください。  
子供と一緒に考える時間が出来たのが、避難するときに注意する事が改めて分かった。

2年前にマイ・タイムラインがあったら役に立ったとおもいますか?  
「はい」か「いいえ」にまるをつけてね!

はい いいえ









6年

# きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう!!

「台風が来たら」してから「川の水が氾濫」するまでの考えをいっしょから考えてみよう!

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの考えが『マイ・タイムライン』だよ!

資料 3

マイ・タイムライン	地区	家	作成年月日
<p><b>3日前</b></p> <p>行政から発信される情報</p> <p>台風発生</p> <p>台風に関する報道、気象庁発表情報</p>	<p>「台風が発生」してから</p> <p>「川の水が氾濫」するまで</p> <p>台風が発生</p>	<p>いつ、どんな備えをしたら良いか考えてみよう!</p> <p>工、今後の台風を調べ始める</p> <p>ニュースを見て、台風の動向をチェックする。</p> <p>自分の着替えをランドセルにに入れる。</p> <p>大事な物を2階において、家族と避難方法を話し合う。</p> <p>車のランドセルをこむ。</p> <p>車でおはあちの家に避難する。</p> <p>コースで川の状況を確認する。</p> <p>川の様子がおちくまで待機する。</p>	<p>備えの(画)</p> <p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○1週間分の菓を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を確認する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○入んでいる用と上履の用意を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通話しにくい場所がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>○携帯メールで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの避難所?</li> <li>・近くの学校?</li> <li>・とまりの避難所?</li> <li>・親戚の家?...</li> </ul> <p>考えてみよう!</p>
<p><b>2日前</b></p> <p>台風に関する報道、気象庁発表情報</p> <p>台風発生</p>	<p>台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる</p>	<p>車いランドセルをこむ。</p>	<p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を確認する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○入んでいる用と上履の用意を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通話しにくい場所がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>○携帯メールで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの避難所?</li> <li>・近くの学校?</li> <li>・とまりの避難所?</li> <li>・親戚の家?...</li> </ul> <p>考えてみよう!</p>
<p><b>1日前</b></p> <p>台風に関する報道、気象庁発表情報</p> <p>台風発生</p>	<p>雨が集まって、川の水がだんだん増える</p>	<p>車いランドセルをこむ。</p> <p>車でおはあちの家に避難する。</p>	<p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を確認する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○入んでいる用と上履の用意を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通話しにくい場所がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>○携帯メールで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの避難所?</li> <li>・近くの学校?</li> <li>・とまりの避難所?</li> <li>・親戚の家?...</li> </ul> <p>考えてみよう!</p>
<p><b>当日</b></p> <p>台風に関する報道、気象庁発表情報</p> <p>台風発生</p>	<p>激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる</p>	<p>車いランドセルをこむ。</p> <p>車でおはあちの家に避難する。</p>	<p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を確認する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○入っている用と上履の用意を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通話しにくい場所がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>○携帯メールで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの避難所?</li> <li>・近くの学校?</li> <li>・とまりの避難所?</li> <li>・親戚の家?...</li> </ul> <p>考えてみよう!</p>
<p><b>3時間前</b></p> <p>台風に関する報道、気象庁発表情報</p> <p>台風発生</p>	<p>川の水位が急激に上昇している</p>	<p>車いランドセルをこむ。</p> <p>車でおはあちの家に避難する。</p>	<p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を確認する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○入っている用と上履の用意を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通話しにくい場所がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>○携帯メールで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの避難所?</li> <li>・近くの学校?</li> <li>・とまりの避難所?</li> <li>・親戚の家?...</li> </ul> <p>考えてみよう!</p>
<p><b>30分前</b></p> <p>台風に関する報道、気象庁発表情報</p> <p>台風発生</p>	<p>川の水位が急激に上昇している</p>	<p>車いランドセルをこむ。</p> <p>車でおはあちの家に避難する。</p>	<p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を確認する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○入っている用と上履の用意を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通話しにくい場所がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>○携帯メールで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの避難所?</li> <li>・近くの学校?</li> <li>・とまりの避難所?</li> <li>・親戚の家?...</li> </ul> <p>考えてみよう!</p>
<p><b>30分後</b></p> <p>台風に関する報道、気象庁発表情報</p> <p>台風発生</p>	<p>川の水位が急激に上昇している</p>	<p>車いランドセルをこむ。</p> <p>車でおはあちの家に避難する。</p>	<p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で高や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を確認する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○入っている用と上履の用意を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通話しにくい場所がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p>○携帯メールで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの避難所?</li> <li>・近くの学校?</li> <li>・とまりの避難所?</li> <li>・親戚の家?...</li> </ul> <p>考えてみよう!</p>

この授業を受けた感想を教えてください。

(多く、この授業を受けて、自分のマイ・タイムラインを作ることができ、実際に避難するときに役に立つようにしたい。前の水害のときは、避難場所がわからなかった。今度水害が来たら、事前に準備したい。)

2年前にマイ・タイムラインがあったら役に立ちましたか?

「はい」か「いいえ」にまるをつけてね!

(はい) (いいえ)





# きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するか書いてみよう！

みんなが考えた『台風が発生』してから「川の水が氾濫」するまでの備えが『マイ・タイムライン』だよ！



資料3

常総市	地区	家	マイ・タイムライン	作成年月日
<p>5日前</p> <p>台風発生</p> <p>台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる</p> <p>雨が降って、川の水がだんだん増える</p> <p>激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が溢れる</p> <p>川の水がいっぱいであられそう</p> <p>川の氾濫</p>	<p>台風が発生</p> <p>台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる</p> <p>雨が降って、川の水がだんだん増える</p> <p>激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が溢れる</p> <p>川の水がいっぱいであられそう</p> <p>川の氾濫</p>	<p>いつ、どんな備えをしたら良いか考えてみよう！</p> <p>工、今後の台風を調べ始める</p> <p>① 雨や風が強くなる前に 前においする</p> <p>② 住んでいる戸外とよ 流の雨量をみる</p> <p>③ 川の水位をしる</p> <p>④ うみきやすいく そうにする</p> <p>⑤ 安全なところへ どうする</p> <p>台風のすすみ方をしる</p> <p>みんなするときにリュック 7サックを使う</p> <p>うみきやすいくつを はいてひなをする</p> <p>パソコンで川の水位 をしる</p> <p>書き込んだ備えを、より詳しく考えてみよう！</p>	<p>備えの(①)</p> <p>今後の台風を調べ始める</p> <p>① 通信の電線を確保し、乗取りに行く</p> <p>② 家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>③ テレビ、インターネット、携帯電話等で最新の予報を確認</p> <p>④ 避難する時に持っていく荷物を準備する</p> <p>⑤ 携帯電話の充電</p> <p>⑥ 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める</p> <p>⑦ ハイランドマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>⑧ 川の水位を調べ始める</p> <p>⑨ 通行止め情報がないインターネットで確認</p> <p>⑩ 携帯電話で避難場所、避難指示を受信</p> <p>安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどこ？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近くの避難所？</li> <li>ピクニックスポット？</li> <li>とまりの避難所？</li> <li>公園？</li> <li>親戚の家？・・・</li> </ul> <p>考えてみよう！</p> <p>命を守ろう！</p>	
<p>この授業を受けた感想を教えてください。</p> <p>川の水が氾濫するまで、いかに早く避難するかが大切だとわかった。</p>	<p>2年前にマイ・タイムラインがあったら立派だったとおもいますか？</p> <p>「はい」か「いいえ」にまるをつけてね！</p> <p><input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p>			



# きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えが『マイ・タイムライン』だよ！



資料3

自治体: 常総市 地区: \_\_\_\_\_ 家: \_\_\_\_\_ マイ・タイムライン 作成年月日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

<p><b>3日前</b></p> <p>○台風発生</p> <p>○大気監視・気象情報</p> <p>○気象に備える準備</p> <p><b>2日前</b></p> <p>○大気監視・気象情報</p> <p>○気象に備える準備</p> <p><b>1日前</b></p> <p>○大気監視・気象情報</p> <p>○気象に備える準備</p> <p><b>準備日</b></p> <p>○大気監視・気象情報</p> <p>○気象に備える準備</p> <p><b>5時間前</b></p> <p>○大気監視・気象情報</p> <p>○気象に備える準備</p> <p><b>3時間前</b></p> <p>○大気監視・気象情報</p> <p>○気象に備える準備</p> <p><b>0時間</b></p> <p>○大気監視・気象情報</p> <p>○気象に備える準備</p>	<p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！</p> <p><b>台風が発生</b></p> <p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！</p> <p><b>台風が近づいて、雨や風がどんどん強くなる</b></p> <p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！</p> <p><b>雨が集まって、川の水がどんどん増える</b></p> <p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！</p> <p><b>激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が溢れる</b></p> <p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！</p> <p><b>川の水がいっぱいであられそう</b></p> <p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！</p> <p><b>川の水位が上がる</b></p> <p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！</p> <p><b>川の水位が氾濫</b></p> <p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！</p>	<p>いつ、どんな備えをしたら良いか考えてみよう！</p> <p><b>工、今後の台風を調べ始める</b></p> <p><b>Q1 台風の荷を調べる?</b></p> <p>答えを付箋に書いて貼ってみよう</p> <p>Q2 避難する時に持って行く物を準備する</p> <p><b>Q2 避難するときに準備するものは何?</b></p> <p>答えを付箋に書いて貼ってみよう</p> <p><b>Q3 今住んでいる所と上流の雨量を調べ始める</b></p> <p><b>Q3 どこ雨量を確認するものは何?</b></p> <p>答えを付箋に書いて貼ってみよう</p> <p><b>Q4 オ川の水位を調べ始める</b></p> <p><b>Q4 川の水位をどうやって調べる?</b></p> <p>答えを付箋に書いて貼ってみよう</p> <p><b>Q5 イ、避難しやすい服装に着替える</b></p> <p><b>Q5 どんな服装で避難する?</b></p> <p>答えを付箋に書いて貼ってみよう</p> <p><b>Q6 ア、な所へ移動を始める</b></p> <p><b>Q6 安全な所はどこ?</b></p> <p>答えを付箋に書いて貼ってみよう</p> <p><b>避難完了</b></p> <p>書き込んだ備えを、より詳しく考えてみよう！</p>	<p><b>備えの(前)</b></p> <p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○1週間分の薬を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を準備する</p> <p><b>備えの(中)</b></p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通行止め情報がないかインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p> <p><b>備えの(後)</b></p> <p>○携帯メールで避難勧告、避難指示を受信</p> <p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>安全な避難場所ってどこ? ・近くの避難所? ・ビジネスホテル? ・となり町の避難所? ・親戚の家? ... 考えてみよう!</p> <p>命を守ろう!</p>
---	--	---	---





# きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するか書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えが『マイ・タイムライン』だよ！

資料3

じょうしゅうし 常総市		ちく 地区		け 家		マイ・タイムライン		作成年月日								
<p>3日前</p> <p>○台風発生</p> <p>○避難に関する指示</p>	<p>○台風発生</p> <p>「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで</p>	<p>いつ、どんな備えをしたら良いか考えてみよう！</p> <p>工. 今後の台風を調べ始める</p> <p>○じゃうぶんな食料と水を買に行く。</p> <p>○シャッターをしめる。</p> <p>ウ. ひ難する時に持っていく物を準備する</p> <p>○けいたい電話の充電(全量分)</p> <p>カ. 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める</p> <p>ハ. ハザードマップでひ難場所、ひ難手段を確認</p> <p>ホ. 川の水位を調べ始める</p> <p>ニ. 林下のじいちゃんにひ難できるか石確認</p> <p>イ. ひ難しやすい服に着替える</p> <p>ト. 大事な物は、二階に上げる</p> <p>○けいたいメールでのひ難注意、ひ難指示を受信</p> <p>○家のPLCをおろす</p>	<p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○避難所の備えを病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川のの様子に注意</p> <p>○避難する時に持って行く物を準備する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通行止め情報がないインターネットで確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服に着替える</p>	<p>時間がかかるおじいちゃん、おばあちゃん、は早めに避難しよう。</p> <p>命を守ろう！</p>	<p>2日前</p> <p>○台風発生</p> <p>○避難に関する指示</p>	<p>○台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる</p> <p>○雨が降って、川の水がだんだん増える</p> <p>○激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が溢れる</p> <p>○川の水位がいっぱいであふれそう</p>	<p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>○安全な避難場所ってどこ？</p> <p>○近くの避難所？</p> <p>○ビジネスホテル？</p> <p>○となり町の避難所？</p> <p>○親戚の家？・・・</p> <p>考えてみよう！</p>	<p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>○安全な避難場所ってどこ？</p> <p>○近くの避難所？</p> <p>○ビジネスホテル？</p> <p>○となり町の避難所？</p> <p>○親戚の家？・・・</p> <p>考えてみよう！</p>	<p>1日前</p> <p>○台風発生</p> <p>○避難に関する指示</p>	<p>○川の水が氾濫</p> <p>○川の水が氾濫</p>	<p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>○安全な避難場所ってどこ？</p> <p>○近くの避難所？</p> <p>○ビジネスホテル？</p> <p>○となり町の避難所？</p> <p>○親戚の家？・・・</p> <p>考えてみよう！</p>	<p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>○安全な避難場所ってどこ？</p> <p>○近くの避難所？</p> <p>○ビジネスホテル？</p> <p>○となり町の避難所？</p> <p>○親戚の家？・・・</p> <p>考えてみよう！</p>	<p>0時間</p> <p>○避難に関する指示</p>	<p>○川の水が氾濫</p> <p>○川の水が氾濫</p>	<p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>○安全な避難場所ってどこ？</p> <p>○近くの避難所？</p> <p>○ビジネスホテル？</p> <p>○となり町の避難所？</p> <p>○親戚の家？・・・</p> <p>考えてみよう！</p>	<p>○安全な所へ移動を始める</p> <p>○安全な避難場所ってどこ？</p> <p>○近くの避難所？</p> <p>○ビジネスホテル？</p> <p>○となり町の避難所？</p> <p>○親戚の家？・・・</p> <p>考えてみよう！</p>

この授業を受けた感想を教えてください。

水害が起るときは、このすれはいい、とかがわくわく分かって良かった。次、このような影響が起きたら、このマイ・タイムラインを見てひなんしようと思った。

2年前にマイ・タイムラインがあったら役に立ったとおもいますか？

「はい」か「いいえ」にまるをつけてね！

はい  いいえ

# きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するか書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えが『マイ・タイムライン』だよ！



常陸市		地区		家		マイ・タイムライン	
作成年月日		年		月		日	
<p>3日前</p> <p>○台風発生</p> <p>○避難に関する必要書類 （避難所、避難経路、避難場所）</p>	<p>「台風が発生」してから 「川の水が氾濫」するまで</p> <p><b>台風が発生</b></p> <p>天気予報で台風が近づいてきて いる。テレビやラジオで台風 の情報を確認する。</p>	<p>いつ、どんな備えをしたら良いか書いてみよう！</p> <p><b>工・今後の台風を調べ始める</b></p> <p>ニュースやインターネットで台風の進 路や強さなど調べる。 防災グッズがあるか確認する。 足りない食べ物や水、必要な物を買 いに行く。 携帯電話を充電する。</p>	<p>○今後の台風を調べ始める</p> <p>○避難所の準備を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなもの はないか確認</p> <p>○テレビ、インターネット、携帯メール 等で川の水位や避難場 所を確認する</p> <p>○避難する時に持っていく物を準備する</p>	<p>買物は、雨 や風が強くな る前にすませ ておこう。</p>			
	<p>2日前</p> <p>○天気予報・気象情報</p> <p>○避難に関する必要な書類</p>	<p>台風が近づいて、雨や 風がだんだん強くなる</p> <p>テレビ（ニュース）、インターネット、携帯 メール等で川の水位や避難場 所を確認する。</p>	<p>○避難する時に持っていく物を準備する</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を 確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p>		<p>避難時間が かかるおじいちゃん おばあちゃん は早めに避難 しよう。</p>		
	<p>1日前</p> <p>○避難に関する必要な書類</p> <p>○避難に関する必要な書類</p>	<p>雨が降って、川の 水がだんだん増える</p> <p>避難できる服装に着替える。 携帯メール等で避難準備情 報を受信。</p>	<p>○避難する時に持っていく物を準備する</p> <p>○ハザードマップで避難手段を 確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通行止め情報が無いインターネットで 確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p>			<p>避難時間が かかるおじいちゃん おばあちゃん は早めに避難 しよう。</p>	
	<p>数日前</p> <p>○避難に関する必要な書類</p> <p>○避難に関する必要な書類</p>	<p>激しい雨で、川の水が どんどん増えて、 河川敷にも水が流れる</p> <p>避難できる服装に着替える。 携帯メール等で避難準備情 報を受信。</p>	<p>○避難する時に持っていく物を準備する</p> <p>○ハザードマップで避難手段を 確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通行止め情報が無いインターネットで 確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p>				<p>避難時間が かかるおじいちゃん おばあちゃん は早めに避難 しよう。</p>
	<p>避難前</p> <p>○避難に関する必要な書類</p> <p>○避難に関する必要な書類</p>	<p>川の水がいっぱい であられそう</p> <p>避難できる服装に着替える。 携帯メール等で避難準備情 報を受信。</p>	<p>○避難する時に持っていく物を準備する</p> <p>○ハザードマップで避難手段を 確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通行止め情報が無いインターネットで 確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p>				
<p>避難中</p> <p>○避難に関する必要な書類</p> <p>○避難に関する必要な書類</p>	<p>川の水位が上がり、 川の水が氾濫</p> <p>避難できる服装に着替える。 携帯メール等で避難準備情 報を受信。</p>	<p>○避難する時に持っていく物を準備する</p> <p>○ハザードマップで避難手段を 確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通行止め情報が無いインターネットで 確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p>	<p>避難時間が かかるおじいちゃん おばあちゃん は早めに避難 しよう。</p>				
<p>避難後</p> <p>○避難に関する必要な書類</p> <p>○避難に関する必要な書類</p>	<p>川の水位が上がり、 川の水が氾濫</p> <p>避難できる服装に着替える。 携帯メール等で避難準備情 報を受信。</p>	<p>○避難する時に持っていく物を準備する</p> <p>○ハザードマップで避難手段を 確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p> <p>○通行止め情報が無いインターネットで 確認</p> <p>○携帯メール等で避難準備情報の受信</p> <p>○避難しやすい服装に着替える</p>		<p>避難時間が かかるおじいちゃん おばあちゃん は早めに避難 しよう。</p>			

この投稿を受けた感想を教えてください。

マイ・タイムラインを作って、災害が起こったときに  
落ち着いて行動したいと思いました。

2年前にマイ・タイムラインがあったら役に立ったとおもいますか？

「はい」か「いいえ」にまるをつけてね！

はい  いいえ





# わが家の『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！



みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを『マイ・タイムライン』だよ！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するか書いてみよう！

3年 / 組 氏名

常総市 地区 わが家のマイ・タイムライン 作成年月日 429年 9月 / 日

時刻	常総市 行政から得られる情報	地区 台風の発生	台風の発生	避難の(前)
5分前	行政から得られる情報 ○防災無線による放送 ○防災無線による放送 ○防災無線による放送	台風の発生 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで	いつ、どんな備えをしら良いか考えてみよう！ <b>親</b> 台風の発生する前の備え 用意しておく物、非常食。 <b>子</b> 大事な物、かくはんをする。 台風発生 TV等で台風情報を調べると、おしい人達と連絡を取りたい。避難場所や家の周りを確認する。 <b>親</b> やおしい人の話をよく聞いたりする。	備えの(前) ○今後の台風を調べ始める 買物には、雨や風が強くなる前に済ませておこう。 ○1週間分の食糧を備前に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める
15分前	○防災無線による放送 ○防災無線による放送	台風の発生 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで	2日前 荷物の準備、確認。 *自分のモノはかくはん 1日前 必要な物に車に積んで 避難場所を確認。 TV、ラジオなどで 大雨の情報を確認する。 安全な場所を確認。 早めに高い場所へ移動。 携帯メールで家族や連絡先(はなれていない時) 避難場所を確認してコースまで様子を見る。	○携帯充電の充電 ○川の水位を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○避難する時に持っていくものを準備する
30分前	○防災無線による放送 ○防災無線による放送	台風の発生 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで	半日前 避難場所を確認する。 安全な場所を確認。 早めに高い場所へ移動。 携帯メールで家族や連絡先(はなれていない時) 避難場所を確認してコースまで様子を見る。	○避難する時に持っていくものを準備する ○通行止めの情報がないインターネットで確認 ○携帯メール等で避難準備情報の受信
1時間前	○防災無線による放送 ○防災無線による放送	台風の発生 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで	川の水が氾濫 川の水位が上がり、川の水が氾濫する。	○避難する時に持っていくものを準備する ○通行止めの情報がないインターネットで確認 ○携帯メール等で避難準備情報の受信
避難完了	避難完了	避難完了	避難完了	避難完了

「わが家のマイ・タイムライン」を作成した感想  
○児童の感想  
かいて思いはういろうりなとすけあうとすうはう  
○保護者の感想  
水害を受けた家としてもマイ・タイムラインを書いておいて思いはういろうりなとすけあうとすうはう  
早い行動を家族と取れるようにしてほしかったです。



2年前にマイ・タイムラインがあったら役に立ったとおもいます  
「はい」か「いいえ」にまるをつけてね！  
はい いいえ

○9月中に完成させて担任の先生まで提出してください。

# わが家の『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！

1年 (組 氏名)

作成年月日 29年 9月 10日

常盤市 地区 わが家のマイ・タイムライン

時間	行政から伝達される情報	主な備え	備えの(例)
5日前	行政からの伝達 ○台風に関する気象情報 ○防災に関する情報	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで	○今後の台風を調べ始める ○1週間分の食を冷蔵庫に受け取りに行く
3日前	○気象情報 ○台風に関する気象情報 ○防災に関する情報	台風が発生 「テレビ、スマホ 天気や今の情報もかきこく」 にんする。○避難場所を決める。 リュックの中に、家族全員の服、下着、非常食、スマホの充電機を入れる。 子供のぬいぐるみ、下剤など、確認。	○家の周りに車で飛ばされるようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯電話等で川の様子に注意 ○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める
2日前	○気象情報 ○防災に関する情報	台風が近づいて、雨や風が強くなる	○携帯充電機を充電 ○川の水位を調べ始める
1日前	○気象情報 ○防災に関する情報	雨が降って、川の水がどんどん増える	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○避難する時に持っていくものを準備する
数時間前	○気象情報 ○防災に関する情報	激しい雨で、川の水がどんどん増え、河川敷にも水が溢れる	○通行止め情報がないインターネットで確認 ○携帯メール等で避難準備情報の受信
避難開始	○気象情報 ○防災に関する情報	川の水位がいっぱいであふれそう	○避難しやすい服装に着替える ○避難しやすいうつらな靴をはく
避難中	○気象情報 ○防災に関する情報	川の水位が氾濫	○安全な所へ移動を始める
避難完了	○気象情報 ○防災に関する情報	避難完了	○安全な避難場所ってどこ？ ・近くの避難所？ ・ビジネスホテル？ ・どなり町の避難所？ ・親戚の家？・・・ 考えてみよう！

「わが家のマイ・タイムライン」を作成した感想

○児童の感想  
いろいろ、好きなことがあまりました

○保護者の感想  
頭の中では分かっていても、いざ災害が起きたらあわててしまうものです。マイタイムラインで書くことで、準備するものなども明確になり、子供達と話し合うことができて良かったです。

2年前にマイ・タイムラインがあったら役に立ったとおもいます  
「はい」か「いいえ」にまるをつけてね！  
はい いいえ

○9月中旬に完成させて担任の先生まで提出してください。

# わが家の『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！



みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えが『マイ・タイムライン』だよ！

5年 / 組 氏名

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつから行動するが書いてみよう！

作成年月日 24年9月24日

準備段階	3日前	2日前	1日前	当日	発生後	避難完了
<p>国や市からの情報だよ。家族と一緒に確認しよう。</p> <p>「わが家のマイ・タイムライン」を作成した感想                      ○児童の感想                      想像で書いてみたけど、実際に起きたら大変なことになるので、事前に家族で話し合っておきたいです。                      ○保護者の感想                      想定外の大雨や川の氾濫に備えて、事前に家族で話し合っておきたいです。</p>	<p>行方から発信される情報</p> <p>台風発生                      ○家族で話し合える避難場所、避難経路を確認する</p>	<p>台風が近づいて、雨や風がどんどん強くなる</p> <p>雨が降って、川の水がどんどん増える</p> <p>激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる</p>	<p>川の水位が上がる</p> <p>川の水位が上がる</p> <p>川の水位が上がる</p>	<p>川の水位が上がる</p> <p>川の水位が上がる</p> <p>川の水位が上がる</p>	<p>川の水位が上がる</p> <p>川の水位が上がる</p> <p>川の水位が上がる</p>	<p>川の水位が上がる</p> <p>川の水位が上がる</p> <p>川の水位が上がる</p>

いつ、どんな備えをしたら良いか考えてみよう！

○ 天気予報をこまめにチェックする。

○ 雨が長く続くと、家族で「避難になるかもしれない」と話し合っておく。

○ ハザードマップで危険な場所、浸水した時に冠水する場所を調べておく。

○ 家のまわりの側溝にゴミがないか見ておき、庭のたおれや草むしりもしておく。

○ 買いだし（水や食料品等）

○ 避難グッズの準備  
 ・ 停電時に必要な物（懐中電灯、モバイルバッテリー、ラジオ）  
 ・ 3泊分の洋服やタオル類

○ 避難しやすい服装に着替える。

○ テレビ、インターネット、メール等で雨や川（上流）の様子、通行止め等の情報を確認。

○ 鬼怒川の水がいつもより増えていることを知り、迷わず、早めの避難！ 川からはなれる。市外へ。

**避難完了**

書き込んだ備えを、より詳しく考えてみよう！

備えの（例）

○ 今後の台風を調べ始める  
 買い物は、雨や風が強くなる前に済ませておこう。

○ 1週間分の薬を病院に受け取りに行く

○ 家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認

○ テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意

○ 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める

○ 携帯電話の充電

○ 川の水位を調べ始める

○ ハザードマップで避難場所、避難手段を確認

○ 避難する時に持っていくものを準備する

○ 通行止め情報がないかインターネットで確認

○ 携帯メール等で避難準備情報の受信

○ 避難しやすい服装に着替える  
 時間がかかるおじいちゃん、おばあちゃん、は早めに避難しよう。

○ 命を守ろう！

○ 携帯メールで避難勧告、避難指示を受信

○ 安全な所へ避難を始める

○ 安全な避難場所ってどんなところ？  
 ・ 近くの避難所？  
 ・ ビジネスホテル？  
 ・ となり町の避難所？  
 ・ 親戚の家？・・・  
 考えてみよう！

「わが家のマイ・タイムライン」を作成した感想  
 ○児童の感想  
 想像で書いてみたけど、実際に起きたら大変なことになるので、事前に家族で話し合っておきたいです。  
 ○保護者の感想  
 想定外の大雨や川の氾濫に備えて、事前に家族で話し合っておきたいです。

2年前にマイ・タイムラインがあったら立ったとおもいます  
 「はい」か「いいえ」にまるをつけてね！  
 はい  いいえ   
 ○9月中に完成させて担任の先生まで提出してください。



---

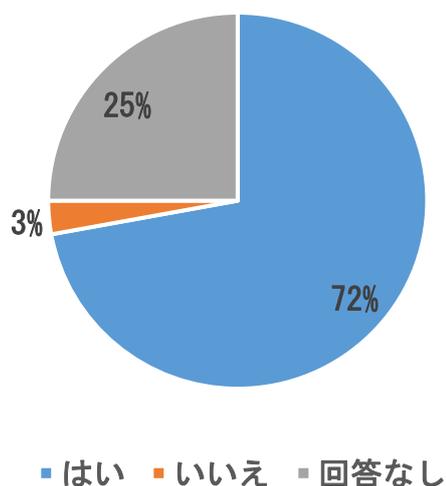
## 8. 防災教育に参加した児童の声

### 8.1 防災教育に参加された児童の皆さんからのアンケート結果

アンケート集計結果（総数 140 名）

#### 1. 2年前にマイ・タイムラインがあったら役に立ったと思うか？

回答項目	回答数（人）
はい	101
いいえ	4
回答なし	35
計	140



#### 2. 授業を受けた感想

##### 2-1 児童の感想

- ・水害になったら、大人の人の言うことを聞こうと思いました。
- ・慌てないで避難できそう。
- ・いざというときに身を守るための準備ができてよかったです。
- ・雨はどうしても大雨になってしまいますが気をつけて行動をします。
- ・いろいろな準備や確認をすることの大切さがわかりました。
- ・今の状況をよくみようと思った。
- ・時間がかかり難しかったです。
- ・マイ・タイムラインを見ながら避難したいです。
- ・2年前に水害の用意をしておけばよかったと思った。
- ・すぐ避難できるように準備したいです。

- 
- ・災害はとても怖いと思いました。準備することがたくさんあると思いました。
  - ・逃げることに自信がついた。
  - ・安全に避難したい。
  - ・難しかったけど想像しやすかったです。
  - ・自分では良く覚えてないけどこんな事があったんだなと思った。
  - ・タイムラインはすごいなと思いました。
  - ・2年前に我が家のマイ・タイムラインがあればよかったと思いました。
  - ・安全に避難できるマイ・タイムラインを作成できてうれしいです。
  - ・やる事がいっぱいあるので早めに行動することが大切。
  - ・とても大切なことだ。いのちを守るために
  - ・これがあれば2年前より早く避難できそうだな。
  - ・考えたことによって水害が起きても頭の中に入れておくと命が助かり慌てずにすむと思いました。
  - ・頭ではどうしていいか考えてはいたけど、実際にタイムラインを作ってみたらどのタイミングで何をすることが分かって良かった。
  - ・家族全員で決めてよかったです。津波がきてからじゃ避難が遅くなってしまうので、計画をたてて行動すると避難が早いと思います。
  - ・災害のための準備がまとめられたから、もし災害が起きても慌てずに避難ができると思う。
  - ・けっこう大変だったけど楽しかったです。
  - ・本当に災害がおきたらすぐ避難できるように、いつも、持ち物を整理しとくようにしたいです。
  - ・こんなに準備や確認をしなくちゃいけないことがわかった。
  - ・今日決めたことを水害時、思い出してみても落ち着いて行動できるようにしたいです。
  - ・子どもだけでも逃げられるように準備をしておこうと思った。
  - ・今日マイ・タイムラインを作ったから、いざとなったら役立つと思った。
  - ・家族みんなとマイ・タイムラインを作れてよかったです。
  - ・マイ・タイムラインを書き、命を守ることが改めて大切だと思いました。水害だけでなく、地震などでも考えてみたいです。
  - ・もし、台風が来て洪水するかもしれない時は、このことを思い出して落ち着いて行動しようと思いました。
  - ・マイ・タイムラインの大切さがわかった。
  - ・3日前から台風の動きを調べたり、買い物に行ったりして避難ができるようにすることがわかった。
  - ・事前に災害の用意をしておくことで、すぐに、逃げられるので用意しておきたいです。
  - ・いざ、水害が起きたときにいつ、どのように備えたらいいのか分からなくなってしまうと思うので、「マイ・タイムライン」を作ったと思います。
  - ・マイ・タイムラインを確認する事によって、慌てず落ち着いて行動したいです。
  - ・2年前に私が避難した時は、川の水が上まできていたので早めに避難したいと思いました。
-

- 
- ・水害が起こる前に家族で話し合っただけで水害が起こりそうになった時にすぐ避難できるようにしておきたいと思った。
  - ・いざとなったらこのマイ・タイムラインに書いたとおりに行動できるようにしたい。
  - ・前から計画を立てておくことで落ち着いて避難することができると思いました。
  - ・2年前は冷静な行動ができなかったが、またこのような災害があったら、安全な行動がとれると思う。
  - ・2年前のような災害がまた起きるかもしれないので、避難に備えてしっかりと準備をしておきたいです。
  - ・水害が起きたときは、こうすればいいとかがくわしく分かって良かった。次、このような災害がおきたら、この「マイ・タイムライン」をみて避難しようと思った。
  - ・マイ・タイムラインは必要なだとわかりました。マイ・タイムラインを書いとけば台風の発生や川の氾濫がなってもすぐに移動ができるからとてもいい勉強ができてよかった。
  - ・次に水害が起きても慌てず、今日勉強したことを思い出しながら行動したいと思いました。川の水位を見たりしながら常に安全でいたいと思いました。
  - ・避難するときに長靴を履いてはいけないことが分かった。
  - ・その時家族がどこにいるのかにもよるので、家族の集合場所を決めておくべきだと思いました。いい機会をありがとうございました。
  - ・わかったことは、私の住んでいる場所は川に挟まれていて、低いところに家があるので雨が降ってきたらすぐに逃げられるようにすることが大切だと思いました。
  - ・タイムラインを有効に使って、安全に避難できるようにしたいことと、前の水害の時は、あまり準備ができていなかったのも、今度水害が来そうなときは前もって準備したいです。
  - ・台風の時に何をやるのか考えるのがとても難しかったです。

## 2-2 保護者の感想

- ・実際に水害が起こった場合、今回作成したマイ・タイムラインを実行するのはもちろんですが、何より家族全員の安否確認が重要になると思います。
- ・いざ書き出してみると難しかったです。でも、マイ・タイムラインを考えたことでもしもの時に役に立ちそうです。
- ・家族でマイ・タイムラインを作成することによって、防災に対する考えが深まり良かったと思います。
- ・どうしてもいざという時はパニックになりやすいので、前々から準備をして、落ち着いて行動できるといいと思います。
- ・備えあれば憂いなし。
- ・2年前は、大丈夫だろうと準備が遅くなってしまったが、これを作成することによって、親もあせらず行動できて、子供達に動揺させずに行動がとれそう。
- ・災害を経験しましたが、家族と一緒に考える機会がなかったので、タイムラインの作成はとても良い振り返りや考える機会になりました。
- ・子どもと一緒にマイ・タイムラインを作成して、避難までの準備や行動のイメージをつけ

---

ることができました。

- ・2年前の水害では避難する時、川の近くの道路を通ってしまい、車が水につかったので、避難場所だけでなく避難経路もちゃんと決めておきたい。
- ・水害への意識を見直し、スムーズに避難できるようにしたいです。
- ・災害にあったときに、冷静に行動できるように常日頃から備えをしておくのが大切だと思いました。
- ・必要物品等々の再確認をするいい機会になりました。
- ・2年前の水害時には避難するのが遅くなってしまいました。改めて、情報を速く確認し、自分の身は自分で守ることを知りました。日ごろからの備えが大事だと思いました。
- ・子どもと避難の話ができてよかったです。
- ・避難を開始するまでのことがよくわかりました。
- ・2年前の事を振り返りながら、あの時はこうすればよかったとか、これはやっというてよかった等々考えてみました。あの時は約半日で準備～避難までをしなければならなかったのので早めの準備、確認、避難を心がけておかなければと改めて家族全員で再確認できて良かったです。あと、家には犬3匹、猫2匹いるので、動物を連れて避難について考えることができたのかと思います。うちはキャンプが大好きなので、キャンプ用品は一揃えありますが、ガスコンロ、ランタン、テントや寝袋等、もって行けば車中泊でエコノミークラス症候群などにならずに避難生活ができるかな？等、色々、考えさせられました。
- ・災害を忘れない為にもとても良いと思います。去年の内容よりも本人の話す事がしっかりとしたものになってます。毎年やる事によって、成長も見れます。
- ・マイ・タイムラインを作成してみて、改めて災害時の準備や避難までの流れを把握することができたので良かったです。
- ・2年前は、慌てて家から避難したので忘れ物があったて困りました。マイ・タイムラインを作って備えておくものや避難時に必要なものを確認できて、とても役に立ったと思いました。
- ・記入することで、すべきことが時間のすすみ方に合わせて、よく分かりました。家族で考えるよいきっかけになりました。
- ・家族で共通理解を持って行動できるように再確認できた。人ごとととらえずに自分に当てはめて覚えておくとうい。
- ・表にすることで分かりやすく、いざ避難となる前に落ち着いて行動することができると思いました。
- ・改めて備えについて考え直すいい機会になりました。家族でどう行動できるのか、今後も継続して準備していきたいです。
- ・2年前に、実際に経験していても、このようなタイムラインを作ってみると改めて早めの行動が必要なんだと思いました。
- ・子どもと一緒に考えて作れたのが良かった。2年前は避難の方法に迷ったが、今後はこのタイムラインを活用して早めの避難を心がけたい。
- ・タイムラインを作成しながら、2年前はとても油断していた事を痛感しました。避難先へ

---

のルート確保に手間取ったり、荷物の不備があったり、と反省しながら、皆で再確認する事ができました。

- ・いざという時に迷わない様に前もって準備しておくことの大切さを感じました。
- ・川が氾濫するまでを時間をおいながら話し合うことで、明確なイメージをもって考えることができた。わが家は鬼怒川のすぐそばなので、家族で真剣に話し合えたことは、”もしも”の時に役立つと思う。
- ・水害にあってから、はじめて水害のときの避難方法などゆっくり考えることができてよかった。備えをしっかりとしたいと思います。
- ・日ごろからの話し合いが大切だと思った。
- ・早めの準備は必要ですが、氾濫した場所や、時間曜日によって避難の状況が変わってくるので、日ごろからいろいろな避難方法を考えないといけないと思います。
- ・自分を守るのは自分です。早めに避難して、情報を得ることが大切だと思いました。
- ・2年前に「まさか、こんなことに…」と子供たちの前で不安をかくせませんでした。もう、起きては成らないことですが、もしもの場合を考え、日頃から準備と対策を心がけておかなければいけないと思いました。
- ・鬼怒川と小貝川の間に住んでいるので、早めに市外へ出ることが良いと思います。家族で話し合いができて良かったです。
- ・いざというときの為に、前もって、このようなマイ・タイムラインを作成し、家族と話し合うことが大切だなと思いました。
- ・情報の収集が大事だと実感したので、防災無線やインターネットなどで最新の情報を得るようにしたいと思いました。今回のタイムラインで家族と話し合ういいきっかけになりました。
- ・何より冷静に、敏速に、安全に。
- ・今回タイムラインを作りましたが、なかなかマニュアル通りには動けないことがあるので、このような話し合いをたくさんしてスムーズに動けるようにしておくことが大切だと思いました。
- ・2年前に実際経験した事を思い出しながら、マイ・タイムラインを作成しました。全国の学校で実施していくと良いと思います。被害に合う前に必要な話し合いだと思います。
- ・改めて、我が家の「マイ・タイムライン」を作成することによって、慌てることなく、避難までの準備をすることができると思います。また、家族の避難経路を事前確認することが出来て良かったです。
- ・普段から、よく家族と話しておくが良いと思った。家、車の保険も良く見直すことも必要だと感じた。
- ・前回の水害を忘れずに常に災害に備えるようにしたいものです。
- ・子供が感じた事と同じで、前もって準備しておく事と、避難場所の確認が大事だと思いました。
- ・1度経験しているので、早めの避難を心がけ、用意すべきものは、まとめておく。
- ・何よりも命を第一に考え行動する。いざという時に備える良い機会になった。

- 
- ・緊急時の事を想定した行動を考えておく事で急なときに対応できると良いと思います。
  - ・台風や線状降水帯の特徴を理解し、スマートフォン、ラジオ等で情報収集を行い、避難の判断材料としていきます。
  - ・2年前はどうしたら良いのかわからず、決壊してからの避難でした。こうした災害は、どこで起きるかわかりません。日頃からの備えとマイ・タイムラインを活用し、冷静に安全に行動したいと思います。
  - ・台風が発生してから、氾濫までの時間が判り易くまとめてあるので役立つと思います。
  - ・天気予報などの情報はこまめにチェックし、速めの行動が取れば安全に避難できるので、今後も気をつけたいと思います。
  - ・いざ避難しようと思った時、通行止めで避難できなかった人がいたのでつねに最新の情報が分かるようになるといいな、と思います。
  - ・玄関に置き、周知します。
  - ・家族で避難場所を確認し、安否確認が取れるようにすることが大切です。災害時には常に速めの行動が重要だと感じました。
  - ・一度経験したので、これからも次の世代にどう行動するべきかを伝えていきたいです。
  - ・いざという時に備えて日頃から保存食や準備等に気をつけていこうと意識づけができました。
  - ・頭では考えていても、こうして表にしてみることで改めて色々と考えさせられました。いい勉強になりました。

---

## 9. 報道機関により取り上げられた情報等の紹介

### 9.1 新聞記事

日時	発行者	概要
2017年9月2日(土)	茨城新聞(朝刊)	水害の教訓生かせ 常総の小中学校 避難所運営ゲームも
2017年9月2日(土)	朝日新聞(茨城版)(朝刊)	防災訓練より実践的 常総の小中生ら 豪雨被害教訓 避難所ゲームや事前計画作り
2017年9月2日(土)	朝日新聞(朝刊)	災害時 試す 確かめる 「防災の日」各地で訓練
2017年9月2日(土)	読売新聞(茨城版)(朝刊)	防災の日備え大切 6校で児童ら「マイ・タイムライン」作り学ぶ
2017年9月2日(土)	毎日新聞(茨城版)(朝刊)	小中学生、防災の大切さ学ぶ 常総水害2年 あの日教訓に

# 水害の教訓生かせ

## 常総の避難所運営ゲームも 小中学生

常総市は「防災の日」の1日、市内全19小中学校で防災訓練を行った。2015年9月の関東・東北豪雨で鬼怒川の堤防が決壊して甚大な被害が出たのを教訓に、生徒らは避難訓練やゲ

ームを通し、命を守る方策を考えた。

昨年が続いて2回目の実施。水海道中学校では午前9時40分、「鬼怒川が危険水位を超えた」という校内放送で、全生徒が校舎3階に避難した。

3年生の一部は近くの市立保育所に駆け付け、幼児36人を同校まで避難誘導。岡野克巳校長は「災害時に中学生が活躍できることは多い」と指摘した。

同校では、避難者に見立てたカードを使った「避難所運営ゲーム」を初めて取り入れた。年齢や持病など

個人情報に記載されたカードを次々と受け取ると、避難所の見取り図上に收容先を確保していった。

3年の渡辺智美さんは「カードの情報では外国人や、ペットを連れた避難者もあり、收容場所に迷った」と避難所運営の難しさを語った。

三妻小学校では国土交通省の協力で、全児童が「マイ・タイムライン」(事前防災行動計画)について学習。河川氾濫の危険性がある場合、上流の雨量を調べることなどが、早めの避難に結び付くことを知っ



避難者に見立てたカードを使って「避難所運営ゲーム」に取り組む生徒＝常総市小山戸町の市立水海道中

た。  
15年の水害時、ヘリコプターで救助された同小6年の中澤杏美さんは「また同じことが起きたら、きょう学んだことを生かし、早めに避難したい」と話した。(今橋憲正)

# 防災訓練より実践的

## 常総の小中生ら 豪雨被害教訓

「防災の日」の1日、常総市内の19小中学校が防災訓練に取り組んだ。2年前の「関東・東北豪雨」で鬼怒川決壊による水害を忘れないようにと、昨年からはじめた。今年は国土交通省や地元NPOなどが協力して、より実践的な内容となった。



保育園児らの手を引いて避難訓練をする中学生たち。常総市

### 避難所ゲームや事前計画作り

水海道中学校(同市小山戸町、314人)では、水害を想定して全校生徒が校舎3階に避難。近くの市立水海道第六保育所の園児36人を生徒たちが保育所まで迎えに行き、手をつないで学校まで避難させた。

このあと、グループに分かれて教室で「避難所運営ゲーム」をした。同校体育館を避難所に想定し、次々と避難してくる市民をカードに置き換えて、体育館の図面に置いていった。「けが人が運び込まれた」「使用禁止のトイレを皆が使っている」など、様々な問題も加わり、本番さながらの運営を体験した。

被災者支援のNPO「助け合いセンター・ジュネーション」などの協力を得た。2年前の水害では水海道小な

どに数カ月避難していたという広瀬彩花さん(3年)は「運営する側になって大変なんだと分かった。今日の体験を生かして、将来は避難所運営を手伝いたい」と話した。

三妻小学校(同市中妻町、215人)では、小学生たちが事前避難計画の個人版「マイ・タイムライン」作りに挑戦した。児童が住む地区ごとに、1年から6年まで7グループに分かれ「上流の雨量を調べ始める」「避難しやすい服装に着替える」など、六つの避難準備を書いたパネルが配られ、皆で議論しながら順番に並べた。(三嶋伸一)

出典：2017年9月2日付朝日新聞朝刊(承諾番号「18-0777」)

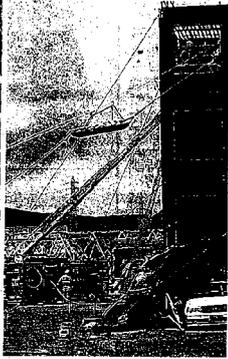
「朝日新聞に無断で転載することを禁ずる」

# 災害時 試す 確かめる

## 「防災の日」各地で訓練



津波避難ビルの屋上に避難する園児ら＝和歌山市



被災したビルに取り残された負傷者を救出する訓練＝神奈川県小田原市



シェイクアウト訓練の開始を告げる合図で机の下に身を隠す職員ら＝東京都大田区役所

「防災の日」の1日、全国各地で防災訓練があった。地震や台風、水害……。参加者は「備え」の大切さを確かめた。

神奈川県小田原市では首都圏9都府県と国などが参加した合同防災訓練があった。ビル内に取り残された人の救出訓練で、救助隊員が窓枠と地上の車両をロープでつなげ、担架士の負傷者を地上へ移動させた。北朝鮮の弾道ミサイルが上空を通過した北海道、滝川、岩見沢の両市でミサイル対応訓練があった。青森県つがる市も同様の想定で、運動場に行った中学生らが校舎に避難した。

茨城県常総市の小中学校は、災害の発生が迫る中、適切な行動につなげる「マイタイムライン」の授業を行った。2年前に起きた豪雨の教訓をいかす狙いだ。自宅から当座へりて救助された6年生の児童は「次はこれを使ってもっと早めに避難しようと思います」。

## 県内一斉「その場で身を守る」米国流「シェイクアウト」

突然の地震に、慌てず身を守る行動を取るシェイクアウト訓練に注目が集まる。2008年に米国で始まり、昨年は全国で600万人超が参加し、県々も行う自治体も。イベントを併せるタイプの訓練もあり、防災への関心をどう高めるか、自治体などのアイデアも問われる。「DROP!（身を低く）」「COVER!（頭を守り）」「HOLD ON!（動かさない）」。高知県は1日、県下一斉のシェイクアウト訓練を初めて実施。行政機関や企業など県人口の10分の1にあたる約7万人が午前10時から1分間、机の下などに隠れた。シェイクアウトとは「揺れに備える」という意味の造語。どこで災害に遭うかわからないため、指定された日時に自宅や外出先で、その場に応じた方法で身を守る行動をとる。高知県南海トラフ地震対策課の窪田佳史課長は「自宅でも手帳にできるのが長所。これをきっかけに自宅の備蓄品を見直すなど、さらに防災意識を高める行動につながればいい」と話した。

東京都大田区も区立の全小中学校や事業所などで約10万人がシェイクアウト訓練に参加。防災行政無線で訓練開始を告げる放送を流すと「聞き取れない」と訴える電話が相次いだ。区防災危機管理課の阿部幸喜係長は「風水害の時はおと聞かすことがなくなる。訓練で体を動かすことが気持ちのステップになる」と期待する。

イベント要素を盛り込んだ「防災フェス」に力を入れるのは東京都渋谷区だ。「非常時の美容や1セット同伴の避難」を考案する「トクショー」、防災知識を学べる科学実験のほか、「世界の防災ごはん」が味わえるコーナーなど、幅広い層の取り込みを狙う。初開催の昨年は日曜日のみだったが、今年は2、3の両日、会場の代々木公園には数万人が集まる見込み。対象を区民に限らないのは、大地震が起されれば渋谷駅は数万人の帰宅難民者が想定されるからだ。区の担当者は「渋谷で学び、それぞれの地域で活用してもらいたい」と話す。

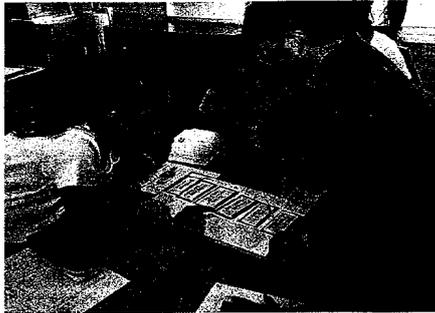
出典：2017年9月2日付朝日新聞朝刊（承諾番号「18-0777」）

「朝日新聞に無断で転載することを禁ずる」

# 防災の日 備え大切

2015年9月の関東・東北豪雨で、鬼怒川の堤防が決壊するなどして大きな被害を受けた常総市は、「防災の日」の1日、水害を想定した防災訓練を市立小中学校全19校で一斉に行った。このうち6校では児童生徒が「マイ・タイムライン」作りを学び、自身の命を守る方法を考えた。

※常総 水害想定



防災行動のキーワードを書かれたカードを並べ替える「マイ・タイムライン」を考案する児童たち(1日、常総市三妻小学校)。川口博成撮影

## 6校で児童ら「マイ・タイムライン」作り学ぶ

マイ・タイムラインは水害などを察知した際、自分が自身がどんな行動をとればいいのかを事前に時系列にまとめた防災行動計画。県内では「常総水害」を教訓に、国、県、鬼怒川・小貝川流域自治体などで作成が進められている。

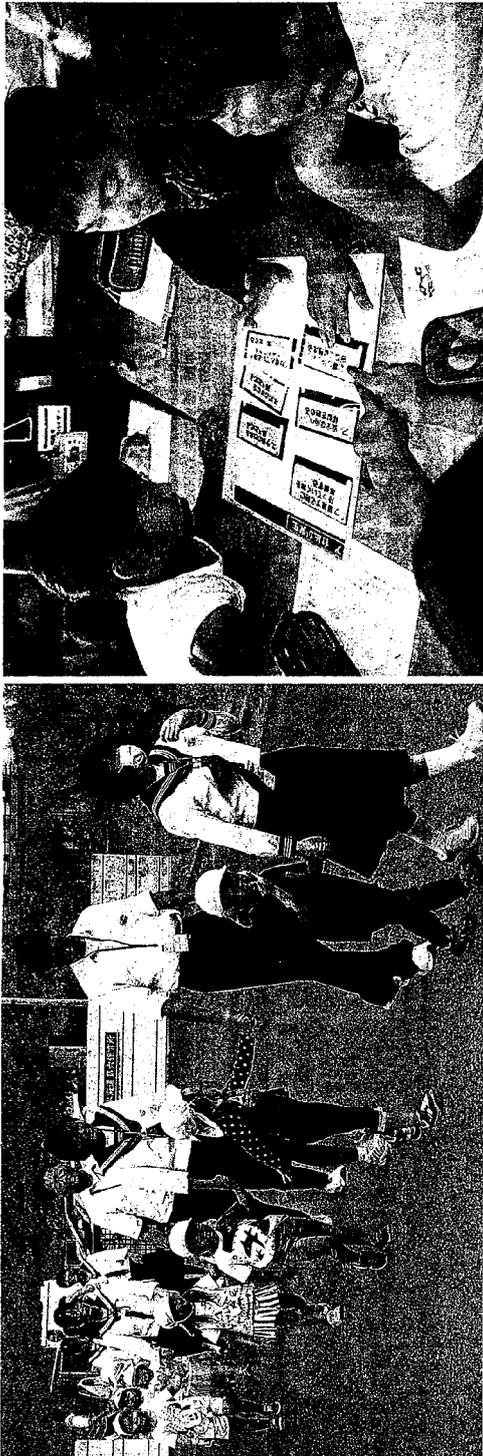
常総市立三妻小ではこの日、全児童が七つの教室に分かれ、国土交通省下館河川事務所職員のアドバタイズを受けながら、マイ・タイムライン作りを体験。

「台風が発生」「川の水位ははんらん」などと周囲の様子を記されたカードや、「避難する時に持っていく物を準備する」「安全な場所へ移動を始める」など防災行動のキーワードが書かれたカードを使い、どんな行動をとったらいいのかを話し合った。

6年の(1)は「川の水が堤防すれすれになってからでは間に合わない。前もって準備し、避難することの大切さがあった。13は「実際に避難したときは怖かった。床のままでは眠れなかったけど、きょうは寝ボールベッドがあるので体は楽です」と話していた。

避難所生活を体験  
また、同市立石下中学校では午後避難所の設置訓練が行われ、午後6時半からは生徒と保護者の有志が体育館に泊まり、電気がストップしたとの想定で、避難所生活を体験した。

②保育所の園児を避難誘導する中学生一常総市小山戸町で①避難のための行動の順番を考える小学生一同市中妻町の市立三妻小で



防災の日の1日、常総市内の小中学校で水害を想定した防災訓練が行われた。同市は2年前の関東・東北豪雨で鬼怒川が決壊して地域の3分の1が浸水。あの水害を教訓にしながら、児童・生徒たちは避難の際の順番を考えたり、避難所の運営方法を考えたりして、災害に対する備えを学んだ。

こうした防災訓練は昨年にかけて2回目。

## 小中学生、防災の大切さ学ぶ

水海道中では、近くの水海道第6保育所と連携。生徒たちが園児の手を引き、平屋の保育所から3階建ての校舎まで避難誘導した。

同中が地域住民の避難所に合ったと想定し、運営を考える取り組みも実施した。生徒たちは、机の上に広げた体育館の見取り図などの上に、避

常総水害2年

あの日に  
教訓に

した際にすべき避難行動の順番を決める「マイ・タイムライン」の作成に取り組んだ。

児童らは、「台風発生」から「川の氾濫」まで、水害の各段階が記されたカードを起し、順番に並べていき、その上で、「川の水位を調べる」「避難しやすい服に着替える」など、避難のための行動を記した6枚のカードを並べ、どのような順番で避難を行うべきか話し合った。

【宮田哲】

---

## おわりに

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、平成 28 年度に常総市内のモデル地区の住民にご協力いただいて開発した「マイ・タイムライン」を低年齢層にも広げるべく、平成 29 年 9 月 1 日の「防災の日」に行われた常総市小中学校一斉学校防災訓練の枠組みにおいて、小中学生に「マイ・タイムライン」を検討してもらいました。参加された様々な関係機関のご協力と、大生小学校、鬼怒中学校、菅原小学校、豊田小学校、水海道小学校、三妻小学校、の先生方と総勢約 830 名の児童・生徒達による熱心な取組みにより、マイ・タイムラインの検討が小中学生の「防災知識の向上」と「防災意識の高揚」にも有効であることが確認できました。

そして、このたびの一斉学校防災訓練で用いた資料を基に、訓練の実施過程でいただいたご意見等を踏まえて改良を加えるとともに、平成 29 年 3 月に公示された新学習指導要領の内容とも整合を図り、「逃げキッド」と称する小中学生向けのマイ・タイムライン検討用教材を開発しました。

「逃げキッド」を活用し、「洪水リスクを知る」から「マイ・タイムラインの作成」までを行う過程で、例えば、新学習指導要領において小学校 4 年生の社会科で身につける内容とされている、「地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること」や「過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること」などに対応した指導を行うことが可能になると考えられます。

鬼怒川・小貝川流域で始めた「みんなでタイムラインプロジェクト」は、全国各地へ広がっています。また、「逃げキッド」は各地の小中学校で防災教育に活用されるだけでなく、一般の方々のマイ・タイムライン検討においても広く使用されています。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、引き続き、大規模洪水からの『逃げ遅れゼロ』に向けた取組みと水防災意識社会の再構築を進めるため、「逃げキッド」を含めたマイ・タイムラインの検討コンテンツを幅広く活用し、継続的に取り組んでまいります。

最後になりますが、本取組みの実施に当たり、ご指導・ご支援・ご協力をいただいたすべての方々に対し、心よりお礼を申し上げます。

---

---

---

---

平成常 2 9 年度常総市小中学校一斉学校防災訓練におけるマイ・タイムライン作成の  
記録

作成：平成 30 年 3 月

企画 鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

問い合わせ先

〒308-0841 茨城県筑西市二木成 1753 番地

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

TEL 0296-25-2171 FAX 0296-25-3019

<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>

---